

# 年 報 33

2016年度  
(平成28年度)

2017.8

山梨県埋蔵文化財センター



# 序

本年報は、山梨県埋蔵文化財センターが開所34年目となる平成28年度に実施しました発掘調査事業と考古資料および史跡の活用事業の概要を報告するものです。

記録保存を目的とする本格的な発掘調査は、県内3カ所で実施しました。注目される遺跡としては、国道141号落石防止・崩落防止対策工事に伴う山梨市隼遺跡で、鎌倉時代から江戸時代にかけての墳墓あるいは民間信仰に関係する窟(いわや)を2基調査しました。これらの窟は現在まで地元の大切な信仰の対象として受け継がれており、調査終了後保存措置が講じられました。その他、西関東道路建設事業に伴う山梨市上コブケ遺跡で縄文時代の集落跡が、甲府駅の南口修景計画に伴う調査では多くの近世の遺構が確認されました。

遺跡の整備事業としては、県指定史跡甲府城跡で継続的に実施している石垣維持管理事業を、史跡指定地域全体を対象に行いました。

県内遺跡の分布調査としては、試掘調査11件、立会調査8件の合計19件を実施しました。甲府城下町遺跡(公用車等駐車場整備事業)拡幅工事に伴う試掘調査では、近世以降の遺構・遺物が発見され、次年度に本調査が行われることになりました。立会調査では財務省所有地における埋設物掘削調査(緑が丘一丁目遺跡)において縄文土器と古墳時代の土師器が出土し、甲府地方家庭裁判所都留支部新庁舎建設事業(谷村城)では遺跡・遺構の広がりや良好な残存状態が確認できました。

情報発信としましては、信州大学付属図書館(全国遺跡資料リポジトリプロジェクト)との連携により運用されてきました発掘調査報告書の電子公開が、昨年6月から(独)国立文化財機構奈良文化財研究所において「全国遺跡総覧」として統合され、当センターの刊行物も含め、全国規模で情報公開が推進されております。

東日本大震災から5年半が経過しています。山梨県教育委員会では被災地の一日も早い復興を願い、当センター職員を平成24年度から宮城県に2年間、岩手県に1年間、福島県南相馬市に1年間派遣し被災地復興に協力して参りましたが、本年度は福島県教育委員会に1名の職員を派遣しました。

当センターでは今後とも埋蔵文化財・史跡の調査研究、保護・保存、活用に努めて参りますので、なお一層のご支援をお願い申し上げます。

平成29年8月

山梨県埋蔵文化財センター

所長 中山 誠二



# 目 次

序

凡例・職員組織

## 第Ⅰ章 2016年度の事業概要

1	発掘調査等	1
2	整理作業	1
3	資料普及事業	2
4	収蔵資料の貸出し及び掲載許可一覧	4
5	第29回市町村埋蔵文化財発掘担当者研修会	8
6	遺跡調査発表会	8
7	シンポジウム・講演会	9
8	知ろう山梨の歴史！山梨の遺跡発掘展2017	9
9	広報誌理文やまなし	10
10	県指定史跡甲府城跡活用事業	10
11	遺跡データ管理(G I S)	13
12	埋蔵文化財センター・岐北収蔵庫遺跡まなび館	13
13	寄贈・購入図書	13

## 第Ⅱ章 各遺跡の発掘調査等概要

1	記録保存のための発掘調査	
1 - 1	上コブケ遺跡(西関東連絡道路建設事業)	14
1 - 2	牛遺跡(国道140号落石防止・崩落防止対策工事)	16
1 - 3	甲府城下町遺跡(総合案内所建設地点)	18
1 - 4	甲府城下町遺跡(試掘・立会調査)	20
2	整備事業に伴う調査	
2 - 1	県指定史跡甲府城跡石垣維持管理事業	24
3	県内分布調査	26

## 第Ⅲ章 県内の概況

1	届出件数と内容	38
2	発掘調査	38
3	県・国指定文化財(考古資料)及び県・国指定史跡	38
4	発掘調査の成果と保存整備事業	38
5	発掘調査体制	39
	発掘届出件数の推移・発掘調査件数の推移・2016年度県内発掘調査一覧表	40

## 凡 例



2016年度 発掘調査等遺跡位置図

## 2016(平成28)年度 職員組織

所長	中山誠二
次長(兼)	高野玄明
総務課長(兼)	高野玄明
調査研究課長	今福利恵
史跡資料活用課長	保坂和博

総務課	
副主査	深沢武人
主任	中山尚行
主任	廣野澄香
主任	水間諭

調査研究課	調査第一担当
副主幹・文化財主事	笠原みゆき
主幹・文化財主事	浅川一郎
主任・文化財主事 (福島県災害派遣)	柴田亮平

史跡資料活用課	史跡資料活用第一担当
主査・文化財主事	石神孝子
副主査・文化財主事	飯室剛史
専門員	米田明訓
非常勤嘱託	小池準一

調査研究課	調査第二担当
主査・文化財主事	三田村美彦
文化財主事	須長愛子
非常勤嘱託	長田隆志
非常勤嘱託	中島賢治

史跡資料活用課	史跡資料活用第二担当
主査・文化財主事	依田幸浩
文化財主事	久保田健太郎
文化財主事	上野桜
非常勤嘱託	加々美鮎実
非常勤嘱託	佐藤敏孝

調査研究課	調査第三担当
主査・文化財主事	網倉邦生
主幹・文化財主事	井上彰雄
文化財主事	熊谷晋祐
非常勤嘱託	垣谷風季

- 1 本書は、2016年度の山梨県埋蔵文化財センターの事業をまとめたものである。
- 2 本書の編集は、石神孝子・米田明訓が行った。
- 3 2016年度の収蔵資料の貸出し及び掲載許可一覧、発掘調査一覧表は2017年3月末日現在で集計したものである。
- 4 第2章各遺跡の発掘調査等概要における発掘調査面積の( )内は、調査対象面積である。
- 5 左記の地図は、2016年度発掘調査遺跡の位置図である。なお、地図中の番号は、1頁の発掘調査の表に対応している。

# 第Ⅰ章 2016年度の事業概要

## 1) 発掘調査等

2016年度の発掘調査等は、以下のとおりである。各道跡の概要は、第Ⅱ章で述べることとする。

### 1) 記録保存のための発掘調査

番号	調査名
1-1	上コブケ道跡（国道140号（西側未地盤道路）建設事業）
1-2	牛道跡（国道140号添石阻止・崩落防止対策工事）
1-3	明治城下町道跡（鹿合駅跡所建設地点）（甲府駅南）（明治城跡付近）
1-4	甲府城下町道跡（試掘・立会調査）（甲府駅南）（周辺地域整備計画）

### 2) 整備事業に伴う調査

番号	調査名
2-1	私鉄定義跡甲府城跡石川村管理事業

### 3) 県内分布調査

番号	事業名他（試掘調査）	番号	事業名他（立会調査）
3-1	西関東連絡道路整営事業（下河原道跡）	3-12	国道411号古市中條城跡改修改良事業（甲府城下町道跡）
3-2	国道411号御前交差点改良工事（桃井塚道跡・朝野道跡）	3-13	郡立都留御前高等学校校址整備事業（三ノ輪道跡）
3-3	私鉄宝塚八田開拓地全面的改善事業（坂ノ上建神道跡）	3-14	舞鶴城公園整備事業（甲府城跡）
3-4	滋吹堅磐堅石相談駅跡交番建設工事（松木坂・越路跡）	3-15	曾根丘陵公園防災公園整備事業（上の平道跡）
3-5	日下部堅磐堅神全・千野統合在所建設工事（東部堅道跡に近接）	3-16	甲府地方気象台設置所留支那新町会建設事業（谷村城）
3-6	同云橋設置施設保全並行に先立つ細部分の調査（堅道跡・安道寺道跡）	3-17	郡厅舍別別館と郡用空室櫻懸掛階段ランク設置工事（甲府城跡）
3-7	公用船等駐車場整備事業（甲府城下町道跡）	3-18	日出外堀工事（日本水制貯）
3-8	清野の森アスレチック公園整工事（清野の森第2道跡）	3-19	郡立桃太郎台園グラウンド排水改良工事及びスロープ設置工事（坂原道跡）
3-9	城合・鶴河原整備事業		
3-10	新山堅磐堅活動事業（内建設事業）		
3-11	手掛の森アスレチック公園整工事（駒場）整備事業（住吉大神道跡）		

## 2 整理作業

2016年度の整理作業等は、以下のとおりである。

### 1) 基礎的整理作業

番号	道跡名
1	上コブケ道跡区（西側未地盤道路建設事業）
2	牛道跡（国道140号添石阻止・崩落防止対策工事）

### 2) 本格的整理作業

番号	道跡名
1	甲府城跡（郡厅構内）
2	大月バイパス開通道跡
3	上ノ輪道跡（郡立郡分野・諏訪高校地点）
4	狩村城
5	身延沢道跡

### 3) 報告書刊行一覧

番号	報告書名	番号	報告書名
第310集	身延沢道跡	第311集	上ノ輪道跡（郡立都留武蔵高校地点）
第311集	谷村城・甲府城跡方略到所留支那新町会建設事業に伴う埋文化財免許済報告書	第315集	山梨県内分布調査報告書（平成28年1月～12月）
第312集	大月バイパス開通道跡		
第313集	甲府城跡		

### 3 資料普及事業

2016年度(平成28年度)に実施した事業は、県内の小中学校等へ出向いて「古代の体験」(土器作り・火起こし体験など)に関する支援を行う「出前支援事業」を実施し、授業の中で児童生徒のみなさんが、地域の歴史に興味関心をもつきっかけの場を提供した。また、上コブケ遺跡に於いて発掘調査の現場で実際に発掘を体験する「発掘体験セミナー」では、広く一般の方々に土器や石器を掘り出すワクワク感を味わっていただき、足下に眠る歴史に興味をもってもらった。この他にも講座・講演会等への講師派遣や、学校の教職員を対象とした、授業への埋蔵文化財の活用をはかるための「古代を実体験!授業づくり研修会」、一般の方々を対象とした遺跡現地説明会、山梨県考古学協会との共催による遺跡調査発表会などを実施した。今年は、千葉県イオン津田沼店で行われた「富士の国やまなしフェア」において縄文土器の展示会も行った。また5月4、5日に「古墳ツーリズム」、8月7日には「古墳で星空」、11月20日(県民の日)に「古墳で勇者」、3月5日には「古墳でマツリ」と称した、国指定史跡銚子塚古墳他を会場とする一連の古代体験イベントを開催し、子供から大人まで楽しみながら地域の歴史を学ぶ機会を提供した。これらの事業以外にも、遺物貸出キット・火起こし道具など考古資料の貸出も行った。また、文化庁の地域の特色ある埋蔵文化財活用事業に関する国庫補助金を受けて、県指定史跡 甲府城跡を会場に、「ひらけ!玉手箱リターンズ」を開催し山梨の伝統技術や文化を体験するイベントをはじめ、展示会・子供から大人まで各年齢層にあった学習会・甲府城の歴史や石垣の技術を知ってもらうための体験イベントなどを実施した。年度末には、当センターと県内市町村教育委員会が2016年度に実施した発掘調査・整理作業などの最新の成果を公開する「知ろう山梨の歴史!山梨の遺跡発掘展2017」を開催した。



出前支援事業(土器作り)



出前支援事業(土器に触れて見学)



上半期遺跡調査発表会



埋蔵文化財センターシンポジウム



古墳で星空



富士の国やまなしフェア(於:千葉県イオン津田沼店)

平成 28 年度 山梨県埋蔵文化財センター一 普及事業集計表

件番	月日	学校～幼稚園・施設事業	人數	件数	講演・講演	人數	件数	月日	講演・講習会	人數	件数	月日	各種イベント・見学会	人數	件数	月日	講場・施設受入人數	
1	5/17(土)	山梨県立小学校教員事務	15	1	4/10(木)	甲府市立小学校	51	1	4/12(土)	山梨県立小学校高浜八木分校（中央公民館）	1,666	1	4/18(金)	山梨県立小学校高浜八木分校（中央公民館）	1,560	1	7/17(土)	県立小学校
2	5/19(月)	山梨県立小学校教員事務	41	2	4/25(木)	甲府市立小学校	30	2	4/12(土)	山梨県立小学校高浜八木分校（中央公民館）	381	2	5/17(金)	山梨県立小学校高浜八木分校（中央公民館）	239	2	7/17(土)	山梨県立小学校
3	6/19(火)	山梨県立小学校教員事務	43	3	5/11(木)	市立小学校！ 中原城	85	3	4/12(土)	山梨県立小学校高浜八木分校（中央公民館）	815	3	5/14(日)	山梨県立小学校高浜八木分校（中央公民館）	100	3	7/27(日)	白馬幼稚園
4	6/23(土)	山梨県立小学校教員事務	43	4	5/16(木)	市立小学校！ 中原城	35	4	4/15(木)	山梨県立小学校高浜八木分校（中央公民館）	189	4	7/16(木)	山梨県立小学校高浜八木分校（中央公民館）	642	4	8/1(木)	甲府中学校
5	7/15(土)	山梨県立小学校教員事務	43	5	5/18(土)	市立小学校！ 中原城	21	5	5/11(木)	山梨県立小学校高浜八木分校（中央公民館）	149	5	8/18(木)	山梨県立小学校高浜八木分校（中央公民館）	127	5	8/1(木)	川上中学校
6	6/29(木)	山梨県立小学校教員事務	25	6	5/21(木)	市立小学校！ 鹿沼城	4	6	6/25(木)	山梨県立小学校社会情勢研究会「中央の森」	152	6	7/3(木)	山梨県立小学校社会情勢研究会「中央の森」	160	5	8/14(木)	浅間山中学校
7	7/14(火)	山梨県立小学校教員事務	25	7	5/25(木)	市立小学校！ 鹿沼城	7	6/30(木)	音楽ネットワーク（甲府市立小学校）	148	6	8/3(木)	音楽祭で癒やさ	42	7	8/12(木)	最上山中学校	
8	6/21(木)	山梨県立小学校教員事務	44	8	6/10(木)	市立二之木島小学校！ 甲府教育	40	8	7/11(木)	水谷にしごと会（甲府市立二之木島小学校）	69	9	8/11(木)	水谷にしごと会（甲府市立二之木島小学校）	380			
9	7/20(木)	山梨県立小学校教員事務	44	9	6/11(木)	市立御坂高等学校（大人数）①	6	9	7/8(木)	矢吹町立御坂高等学校（大人数）②	9	10	8/1(木)	矢吹町立御坂高等学校（大人数）③	16	8	8/1(木)	矢吹町立御坂高等学校（大人数）④
10	6/29(木)	山梨県立小学校教員事務	34	10	6/15(木)	北都留郡丹波山村立丹波山村立小学校	66	10	7/25(木)	水谷にしごと会（甲府市立小学校）	18	9	8/13(木)	水谷にしごと会博物館	326			
11	6/30(木)	山梨県立小学校教員事務	25	11	6/19(木)	甲府市立小学校教員会議	80	11	8/25(木)	水谷にしごと会（甲府市立小学校教員会議）	6,654	12	8/13(木)	水谷にしごと会博物館	42			
12	12/18(木)	山梨県立小学校教員事務	1	12	7/2(木)	市立御坂高等学校（大人数）③	15	12	7/22(木)	山梨県立御坂高等学校（大人数）④	131	13	8/14(木)	山梨県立御坂高等学校（大人数）⑤	352			
13	7/16(木)	市立御坂高等学校（大人数）④	15	13	7/16(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑤	15	13	11/17(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑥	2	12	8/14(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑦	32			
14	7/18(土)	市立御坂高等学校（大人数）⑤	15	14	7/24(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）①	10	15	10/12(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）②	1	15	10/18(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）③	120			
15	7/27(火)	市立御坂高等学校（大人数）⑥	15	16	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑦	7	16	10/11(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）⑧	67	15	11/20(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）⑨	113			
16	8/3(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑧	16	17	8/3(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑨	11	17	11/12(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）⑩	16	17	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
17	8/19(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑩	20	18	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑪	12	18	11/2(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）⑫	21	19	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	79			
18	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑪	21	19	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑫	12	19	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）⑬	15	20	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
19	8/19(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑬	21	20	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑭	12	20	11/2(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）⑮	15	21	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
20	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑭	21	21	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑮	12	21	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）⑯	15	22	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
21	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑯	21	22	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑰	11	22	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）⑱	15	23	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
22	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑰	22	23	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑲	11	23	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）⑳	15	24	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
23	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑲	23	24	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）⑳	11	24	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉑	15	25	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
24	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉑	24	25	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉒	11	25	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉓	15	26	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
25	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉒	25	26	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉔	11	26	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉕	15	27	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
26	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉔	26	27	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉖	11	27	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉗	15	28	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
27	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉖	27	28	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉘	11	28	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉙	15	29	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
28	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉘	28	29	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉚	11	29	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉛	15	30	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
29	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉚	29	30	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉜	11	30	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉝	15	31	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
30	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉜	30	31	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉞	11	31	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉟	15	32	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
31	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉞	31	32	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	11	32	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉟	15	33	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
32	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	32	33	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	11	33	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉟	15	34	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
33	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	33	34	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	11	34	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉟	15	35	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
34	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	34	35	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	11	35	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉟	15	36	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
35	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	35	36	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	11	36	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉟	15	37	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
36	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	36	37	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	11	37	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉟	15	38	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
37	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	37	38	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	11	38	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉟	15	39	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
38	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	38	39	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	11	39	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉟	15	40	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
39	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	39	40	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	11	40	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉟	15	41	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			
40	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	40	41	8/1(木)	市立御坂高等学校（大人数）㉟	11	41	11/7(木)	御坂町立御坂高等学校（大人数）㉟	15	42	3/15(木)	御坂高等学校マツリ	338			

件数合計

11,139

件数合計

11,139

件数合計

11,139

件数合計

11,139

## 4 収蔵資料の貸出し及び掲載許可一覧

収蔵資料貸出し一覧（入件順）

番号	貸出期間	申請者	利用目的	申請物件名
1	4.1 ~ 5.31	公益財団法人山梨文化財研究所	江曾原遺跡発掘調査報告書に図化・掲載のため	野沢昌康コレクション 江曾一式 原町農業高校前遺跡
2	4.1 ~ 平成 29.3.31	県立北杜高等学校	郷土教育に活用するため	郷土文器 15 点
3	4.1 ~ 平成 29.3.31	山梨中銀金融資料館	貨幣史コーナーに常設展示するため	金の尾遺跡 花島山遺跡 赤倉山 B 遺跡
4	4.1 ~ 平成 29.3.31	宝石美術専門学校	ジュエリーミュージアムにて常設展示のため	東山北遺跡 甲ヶ原遺跡 大木戸遺跡 美濃遺跡 揖斐南原遺跡 須無遺跡 金の尾遺跡 四ツ塚古墳群 双葉 2 号墳 考古博物館構内古墳 赤倉山 B 遺跡 1 号墳
5	4.1 ~ 平成 29.3.31	山梨平和ミュージアム	常設展示のため	坂部遺跡 横笛前久保遺跡
6	4.1 ~ 平成 29.3.31	北杜市教育委員会	北杜市考古資料館において常設展示のため	天神遺跡 柳坪遺跡 寺所遺跡 城下遺跡 東原遺跡
7	4.1 ~ 平成 29.3.31	山梨市フルーフバータ(株)	「甲州某物発展史」コーナーに常設展示するため	大師東丹保遺跡 カクミ 16 点・カヤ 3 点・トチ 1 族・モモ種子 7 点
8	4.1 ~ 平成 29.3.31	南アルプス市教育委員会	ふるさと文化伝承館にて常設展示のため	百々遺跡 横桶遺跡
9	4.1 ~ 平成 29.3.31	能登部管財課	防災拡販石垣展示室に展示のため	甲府城跡
10	4.1 ~ 平成 29.3.31	県立博物館	常設展示のため	原町農業高校前遺跡 原町農業高校前遺跡
11	4.21 ~ 4.26	駿台甲府中学校	土器づくり体験の事前学習のため	頭無遺跡 宿尾遺跡 御坂山バイパス間連遺跡
12	5.20 ~ 7.20	中央市農富郷土資料館	ミニ企画展「昔も今も変わらぬ相棒 文房具」にて展示するため	小舟田遺跡 鏡 2 点
13	7.1 ~ 平成 29.3.31	県立博物館	科学研究費「日本人列島における牛乳利用史解明のための基礎的研究」のため	百々遺跡 一の沼遺跡 安道寺遺跡 上野原遺跡 原町農業高校前遺跡
14	7.15 ~ 9.10	足羽美術館	特別展「山の郷文世界－中部高地の郷文時代－」に展示するため	甲ヶ原遺跡出土 中丸遺跡 大月遺跡 上コブケ遺跡

番号	貸出期間	申請者	利用目的	申請物件名
15	8.23 ~ 11.8	愛知陶磁美術館	特別展「人が大地と出会うとき」に展示するため	殿林道路
				一の沢遺跡
				海道前C遺跡
				天神遺跡
				上コブケ遺跡
				中谷遺跡
16	8.26 ~ 12.15	松戸市立博物館	企画展「石斧と人 - 3万年のあゆみ - 」で展示するため	上中丸遺跡
17	9.1 ~ 12.27	御庭堂遺跡博物館	特別展「縄文序章」に展示するため	大木戸遺跡
				天神遺跡
				花島山遺跡
				上の平遺跡
18	9.12 ~ 11.30	十日町市博物館	秋季企画展「土器づくりの考古学」で展示するため	上野原遺跡
19	9.14 ~ 12.23	県立博物館	企画展「薦荷と薦荷酒」で展示するため	甲府城跡
20	9.27 ~ 12.16	上高津貝塚ふるさと歴史の広場	企画展「みんなの知らない植物の世界 - 造材遺所の考古学 - 」で展示するため	美通遺跡
				御坂中丸遺跡
				酒呑場遺跡
				天神遺跡
				中谷遺跡
				花島山遺跡
				大月遺跡
				炭化タヌギ2点・炭化コナラ2点
21	9.27 ~ 12.27	中央市豊富郷土資料館	企画展「王塚と甲斐の5世紀」で展示するため	王塚古墳
22	10.6 ~ 平成 29.2.10	北杜市考古資料館	企画展「折りの風景～北杜の石棒と丸石～」で展示するため	海道前C遺跡
23	10.12 ~ 平成 29.2.10	富士吉田市歴史民俗博物館	企画展「縄文人が日撃した富士山火山」で展示するため	大月遺跡
24	11.18 ~ 平成 29.3.20	長野県立歴史館	冬季展「信濃国の城と城下町 - 発掘調査が語る解く - 」に展示するため	甲府城跡
25	12.12 ~ 平成 29.3.17	県立富士山世界遺産センター	企画展「探訪 富士山巡礼路」で展示するため	富士御室浅間神社二合日本宮 銅鏡 20点・山茶碗 2点 掛軸 1点
26	平成 29.3.30 ~ 平成 30.3.31	弘前大学	科学研究費「考古学から見たイネの品種の受容と歴史的展開の解明」のため	平野遺跡 東山北遺跡
				炭化米一括 炭化米一括

### 古代衣装貸出し一覧

番号	貸出期間	申請者	利用目的	申請物件名
1	4.27 ~ 5.20	忍野村立忍野小学校	授業で使用のため	貴頭衣 3着
				胡 裳 3着
				巫女服 3着
				女官服 3着
				官吏服 3着
				貴頭衣 1着
2	10.11 ~ 10.22	県立あけぼの支援学校	学習教材として使用のため	胡 裳 1着
				巫女服 1着
				女官服 1着
				官吏服 1着
				胡 服 2着
3	10.15 ~ 10.23	海老名市教育委員会	相模国国分寺むかしまつりにおいて着用体統のため	巫女服 2着
				官吏服 2着
				貴頭衣 1着
				胡 裳 1着
				巫女服 1着
4	11.1 ~ 11.23	袖ヶ浦市郷土博物館	体験学習にて使用のため	女官服 1着
				官吏服 1着
				貴頭衣 1着
				胡 裳 1着
				巫女服 1着

収蔵画像資料貸出し・撮影許可一覧（入件順）

番号	申請日	申請者	利用目的	申請物件名
1	4月1日	公益財団法人山梨文化財研究所	江戸原道跡発掘調査報告書に図化・掲載のため	野沢呉唐コレクション 江戸原道跡発掘写真1点 式
2	4月5日	毛加町陶磁美術館	特別企画「人が大地と会うとき」国録柄、店頭販売をするため	越畠道跡 稲文上器1点 →の足道跡 稲文上器3点 舟前町C道跡 稲文上器1点 大曾道跡 稲文上器1点 上コブケ道跡 稲文上器1点 中谷道跡 稲文上器1点
3	4月17日	岡澤吉高	ウェブサイト「美しい田舎ポン？」に掲載のため	安曇寺道跡 稲文上器1点 二重石垣写真1点
4	4月20日	(株)アッシュ	解説用「必殺仕事人DVDコレクション」30号に掲載のため	甲府城跡 石造体バット写真1点
5	5月15日	足利市文化館	特別展「山の郷文世界～中部高地の郷文時代～」の国録柄、広報資料とするため	→の足道跡 上岡本古墳・岡本古墳4点・上器集合1点、岡本古墳1点 駿河道跡 稲文上器1点 酒町道跡 稲文上器1点 安曇寺道跡 稲文上器2点 上野原道跡 稲文上器1点 福井農業高校前道跡 稲文上器1点 甲斐道跡山上 稲文上器ほか2点 大曾道跡 石碑1点 上木ヶ原道跡 水品石製石集盒写真1点
6	5月27日	東京史記出版	高校歴史資料集「日本史のライブラリー」に掲載のため	甲斐道跡 ハラハラ跡1点
7	6月2日	有限会社セカミディオム	「ビジュアル図鑑 日本の歴史」に掲載のため	船岡空道跡 上岡本1点
8	6月17日	一般社団法人 DreamSociety	写真集「郷文の夜神祭」パラレット掲載のため	安曇寺道跡 稲文上器1点
9	6月29日	山梨県考古学協会	山梨県考古学協会2016年度大会「人馬古墳から探る山川『郷の古時代』開催チラシ および 山梨県考古学会会場に行き山梨県考古会第14回に掲載のため	大塙古墳 佐藤写真1点
10	6月22日	株式会社小学館	雑誌「手作り」2016年6月号掲載のため	駿河道跡 稲文上器1点
11	6月24日	下野市博物館	秋季企画「土器づくりの考古学」国録柄・広報資料とするため	上野原道跡 稲文上器1点
12	7月5日	安芸高田市教育委員会	国指定史跡平立古墳群・HIIなどに掲載のため	平成20年度春季企画「史跡の前方後円墳」掲載の古墳想像図付
13	7月9日	森第一	「駿・みのの考古学」に掲載のため	吉田道跡 調査写真1点
14	7月8日	株式会社新星社	動植物図鑑「郷文時代史」掲載のため	酒町道跡 稲文上器1点・ダイズ豆紙1点
15	7月10日	斎藤健	郷文掲載のため	甲斐道跡 稲文上器2点 長坂宿見下町下原道跡 稲文上器2点
16	7月12日	株式会社ロム・インター・ショナル	古文「駿から見る三国志」掲載のため	鳥原原風呂古墳 音銅鏡集写真1点
17	7月22日	Crayfish株式会社	ミラクル水の文化セミナーウェブサイト「水の郷七尾」ネットワーキングセミナー記事「海で新しい!甲府の魚食文化」に掲載のため	諏訪湖岸道跡 魚骨写真1点
18	7月25日	山梨県立博物館	企画展「駿と魚を育む」国録掲載のため	中谷道跡 レプリカSEM 写真は2点
19	8月19日	上越市教育委員会	企画展「みんなの知らない植物の世界－通川通所の考古学－」国録掲載・広報資料とするため	横須原跡1点・レプリカSEM 写真1点
20	8月22日	駿賀空道跡博物館	特別展「郷文序章」国録掲載のため	大木山道跡 稲文上器2点 天神道跡 稲文上器2点 花島の道跡 稲文上器3点 上の木道跡 稲文上器1点
21	8月24日	株式会社山と読谷社	伊田希者子著「さきめん郷文開拓」に掲載のため	駿根井道跡 稲文上器1点
22	8月29日	株式会社山梨新報社	特集記事「家計満足に見る山梨県民の食生活」掲載のため	御殿原岸道跡 稲文上器1点
23	9月9日	株式会社中央公論新社	大塙希者著「駿った。考えた」掲載のため	駿河考古博物館 授与用風景1点
24	9月11日	中央市立宮郷上資料館	企画展「王室と平生の3世纪」パネル等に掲載のため	玉原古墳 航空写真1点 大坂山道跡 航空写真1点・調査写真1点 大坂東丹波道跡 吉崎全1点 猪子古墳・丸山古墳 古墳写真1点 丸山古墳 古墳写真2点 かみかみ塙古墳 古墳写真1点・駿・井戸写真1点 駿浦古墳 航空写真1点 近坂古墳 航空写真1点 馬糸山古墳 航空写真1点 東山古墳 諏訪湖空道跡写真1点 永山古道跡 調査写真1点 角里古墳 調査写真1点・菅井写真1点 諏訪湖岸道跡 航空写真1点
25	9月15日	北杜市教育委員会	企画展「折りの郷景～北杜の石碑と丸石～」	諏訪湖C道跡 調査写真1点・郷文上器1点 郷原道跡 調査写真2点 甲斐道跡 調査写真1点 酒町道跡 調査写真3点
26	9月19日	富士吉田市歴史民俗資料館	企画展「郷文人が日本した富士山由来」国録掲載のため	大月古墳 稲文上器ほか2点 駿河古墳 調査写真1点・水文ごし体験版1点
27	9月22日	株式会社グローバルデザイン	富士の山やまなし植木キットホームページに掲載のため	酒町道跡 調査写真1点 考古博物館 外版上器1点 安曇寺道跡 稲文上器1点 猪子古墳・丸山古墳 航空写真1点
28	10月4日	ウインズ株式会社	おもでなし学習「マンガで知るやまなし」掲載のため	冬季展「信濃国の城と城下町 - 発掘調査が鍵を解く - 」国録掲載のため
29	10月10日	長野県立歴史館	冬季展「信濃国の城と城下町 - 発掘調査が鍵を解く - 」国録掲載のため	甲府城跡 五点・植木箱写真1点



## 5 第29回市町村埋蔵文化財発掘担当者研修会

開催日時 2017年2月23日(木)午後1時30分～4時50分

会 場 風土記の丘研修センター 講堂

テー マ 地域を活性化させる史跡の活用

講 師 千曲市歴史文化財センター所長 矢島宏雄 氏

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館館長 出月洋文 氏

山梨県埋蔵文化財センター調査研究課長

今福利恵 氏

参加者数 34名



最初にテーマに基づき3名の講師が史跡の活用事例を発表した。矢島氏は千曲市の史跡を活用した三つのイベントの内容や

運営方法について報告した。出月氏は甲斐金山遺跡が国の史跡に指定された経緯や湯之奥金山博物館の活動状況等を報告した。今福氏は甲府城跡の調査研究の現状とその成果の公開および活用の様子を紹介した。

講演のあとでの討論会では、活用事業(イベント等)に関して、正しいニーズ、地域性や郷土の特性、持続性、意外性などの視点から活発な議論がなされた。

## 6 遺跡調査発表会

遺跡調査発表会は、山梨県考古学協会と共に開催している。県内の最新発掘情報を広く県民に発信する場であり、スライドなどを使用したわかりやすい発表となっている。また、出土品や写真パネルのミニ展示も併設している。

### ○2016年度上半期遺跡調査発表会【参加者79名】

開催日時：2016年10月22日(土) 午後1時30分～4時10分

開催場所：風土記の丘研修センター 講堂

発表1 甲州市：后烟西・ケカチ遺跡(発表者 昭和測量株式会社 泉英樹)

発表2 都留市：三ノ側遺跡(発表者 帝京大学文化財研究所 平野修)

発表3 山梨市：牛遺跡(発表者 山梨県埋蔵文化財センター 熊谷晋祐)

発表4 甲府市：甲府城柳門跡(発表者 甲府市教育委員会 望月健太)

### ○2016年度下半期遺跡調査発表会【参加者90名】

開催日時：2017年3月12日(土) 午後1時00分～4時10分

開催場所：帝京大学文化財研究所 大ホール

発表1 山梨市：上コブケ遺跡(発表者 山梨県埋蔵文化財センター 長田隆志)

発表2 富士河口湖町：滝沢遺跡(発表者 富士河口湖町教育委員会 杉本悠樹)

発表3 甲斐市：御岳田遺跡(発表者 甲斐市教育委員会 長谷川哲也)

発表4 莽崎市：坂井堂ノ前遺跡(発表者 莽崎市教育委員会 半澤直史)

発表5 甲州市：於曾屋敷(発表者 帝京大学文化財研究所 植原功一)

## 7 シンポジウム・講演会

シンポジウム・講演会は、考古学と関連諸分野の研究者との連携により実施した埋蔵文化財シンポジウムや、その時々のテーマでの講演会などを実施し成果を上げてきた。2016年度は、甲斐の城下町及び甲府城石垣に関するシンポジウムを実施した。

### ●埋蔵文化財センターシンポジウム「甲斐の城下町を探る～谷村城、甲府城下町遺跡発掘調査を中心として～」

2016年10月10日(月・祝)

2014・2015年度に発掘調査を行った谷村城を主眼として、調査で明らかとなった谷村陣屋の成果を中心に、改めて山梨県下の城下町をテーマとした。

シンポジウムでは、谷村城や甲府城下町遺跡を比較することによって、甲斐国の中下町について評価・検討を進めた。また、発掘調査の出土品を対象に行った自然科学分析や、考古学や文献資料により遺構・遺物の評価を行いつつ、調査事例と比較することを通じて、江戸時代における甲斐国町方研究の到達点を明らかにした。

（講演）

基調講演「陶磁器からみる近世甲斐国の様相について」 堀内秀樹(東京大学埋蔵文化財調査室)

（報告）

報告1 「谷村城下町の形成と変遷」 奈良泰史(健康科学大学)

報告2 「高山源五郎屋敷と谷村陣屋の位置づけについて」 綱倉邦生(山梨県埋蔵文化財センター)

報告3 「甲府城下町の形成と変遷」 佐々木満(甲府市教育委員会)

報告4 「谷村城下町と近世の甲斐における動物資源利用」 植月学(山梨県立博物館)

報告5 「谷村城下町と近世における金属利用」 西順麻以(山梨県立博物館)

### ●埋蔵文化財センターシンポジウム「野面積み石垣サミット～近世城郭以前の野面積み石垣と比較する～」

2017年2月19日(土)

東国における織豊城郭以前の野面積み石垣を対象に、野面積み石垣の積み方、詰石の特徴、石材調達と加工、石垣内部の構造、地盤等をテーマに、お城自慢を通じて各担当者の報告を得た。各地の織豊城郭以前の石垣の事例を明らかにすることで、甲府城の再評価につなげることを目的とした。甲府城築城以前に廃城されたと考えられる東京都八王子城、群馬県金山城、山梨県獅子吼城の石垣との比較検討を行った。

（講演）

基調講演「魅力にみちた甲府城の野面積み石垣」 北垣聰一郎(石川県金沢城調査研究所名誉所長)

（報告）

報告1 「史跡金山城の野面積み石垣」 宮田毅(元太田市教育委員会)

報告2 「史跡八王子城跡の野面積み石垣」 村山修(八王子市教育委員会)

報告3 「市指定史跡獅子吼城跡の野面積み石垣」 渡邊泰彦(北杜市教育委員会)

報告4 「県史跡甲府城の野面積み石垣」 久保田健太郎(山梨県埋蔵文化財センター)

パネルディスカッション コーディネーター 北野博司(東北芸術工科大学)

## 8 知ろう山梨の歴史！山梨の遺跡発掘展2017

この展示会は、2016年度に山梨県内で実施された発掘調査成果の概要を写真パネルや出土遺物の展示により、わかりやすく広く一般県民に紹介する展示会である。県民の埋蔵文化財に対する理解と、郷土への歴史的認識を深めてもらう機会として例年開催し、今年で29回を数える。開催期間は2017年3月11日～4月9日までとし、県立考古博物館企画展示室を会場とした。今年度は、発掘調査された最新の情報を時代ごとに展示する他、県埋蔵文化財センターが実施した普及活動の成果や、福島県で行っている東日本大震災復興支援のようすを紹介した。

### 〈展示内容〉

- 縄文時代：上原遺跡（北杜市教育委員会）、上コブケ遺跡（県埋蔵文化財センター）
- 弥生時代：御岳田遺跡（甲州市教育委員会）、滝沢遺跡（富士河口湖町教育委員会）
- 古墳時代：塙部遺跡（甲府市教育委員会・（株）昭和測量）、御座田遺跡（韮崎市教育委員会）、狐原I遺跡（上野原市教育委員会）
- 奈良時代：坂井堂ノ前遺跡（韮崎市教育委員会・帝京大学文化財研究所）
- 平安時代：后畠西・ケカチ遺跡（甲州市教育委員会・（株）昭和測量）、三ノ個遺跡（都留市教育委員会・帝京大学文化財研究所）
- 中世：於曾屋敷（甲州市教育委員会・帝京大学文化財研究所）、西耕地B遺跡（甲府市教育委員会・帝京大学文化財研究所）、隼遺跡（県埋蔵文化財センター）
- 近世：甲府城柳門（甲府市教育委員会）、甲府城下町遺跡（県埋蔵文化財センター）
- 近代：下石垣（したまらせき）、石積山五番堤（南アルプス市教育委員会）
- 普及活用：甲府城石垣維持管理事業、県内分布調査事業、史跡資料活用事業、東日本大震災復興支援事業（県埋蔵文化財センター）

## 9 広報誌「埋文やまなし」

### 第51号

- ・所長挨拶・埋活！史跡編・埋活！道具編・上コブケ遺跡・隼遺跡・甲府城下町遺跡・整理作業の机から・埋文クラフト・埋蔵文化財活用事業に重点をおきつつ、発掘調査の速報など埋蔵文化財センターの活動を広報した。

### 第52号

- ・隼遺跡・上コブケ遺跡・古墳で星空・ひらけ！玉手箱・埋文クラフト・コラム  
2016年度に調査が終了した山梨市隼遺跡の成果を特集した。

### 第53号

- ・特集東日本大震災復興支援事業・甲府城石垣維持管理・上コブケ遺跡整理作業  
2016年度で東日本大震災復興支援事業による職員派遣が終了することから、被災地での職員の活動及び職員派遣によって山梨県の埋蔵文化財行政にもたらされたものに焦点をあてた。

## 10 県指定史跡甲府城跡活用事業

県指定史跡甲府城跡（舞鶴城公園）は、1990年から県上整備部主導で舞鶴城公園整備事業に着手し、文化財の保護と安全性の向上等を目的として城内の整備を実施してきた。また、2004（平成16）年度には稲荷櫓が、2013（平成25）年度には鉄門が復元整備され、公開されている。埋蔵文化財センターでは、これらを拠点として、地域活性化や甲府城跡の歴史的風格を高めることを目的とし、年間を通して様々な活用事業を実施している。2016年度は、甲府城跡や甲府城跡における石垣にどのような文化財的価値があるかについて、調査研究の成果をもとにした教育普及活動（青空教室、甲府学問所など）と、鉄門や城内を活用して県民が甲府城跡に親しみを持つきっかけをつくる活動（和楽器演奏会、鬼ごっこなど）の2種類のイベントを実施した。

### （1）信玄公祭り関連「スミに置けない石垣のすみっこ展」会期：4月8日～17日

鉄門2階を会場とし、甲府城に対する正しい理解、興味関心を高めることを目的として、信玄公祭りの開催に伴い展示を行った。甲府城と同時期の城郭の石垣や、別時期の石垣と比較しながら甲府城の石垣の価値を浮き彫りにした。また信玄公祭り関連イベントである「甲州寺子屋」において、2016年度に開催した甲府学問所徴典館の受講生が発表した研究成果の中で、独自の視点により研究を展開した3名について、各自が発表を行った。

## (2) 「青空教室」(小中学生編、一般編)

小中学生編：7月27日・8月3日・10日・17日・24日(全5回)

一般編：6月～9月(上半期・全4回) 10月～3月(下半期・全5回) 第1週水曜日

※10月は雨天のため中止

築城期の野面積み石垣がもつ文化財的価値について、現地を歩きながら解説するものである。7月末から8月末にかけての夏休み期間に合計5回の小中学生編を、6月からの上半期、10月からの下半期にそれぞれ5回シリーズで一般編を実施した。

小中学生編は、石積み体験キット「石垣つめる君」を併せて活用することで楽しみながら石垣の構造や、石積みの伝統技術について学習する機会となった。

### 【一般編テーマ】

第1回( 6・11月) 「お城の南から本丸へ登る！」

第2回( 7・12月) 「自慢の高石垣を見つづ、北から本丸へ登る！」

第3回( 8・1月) 「岩盤と排水を制した甲府城の石垣」

第4回( 9・2月) 「絵図を歩く」

第5回(10・3月) 「甲府城石垣の謎」

## (3) 「甲府学問所 徴典館」 開催日時：7月から毎月第3火曜日(全10回)

甲府城と城下町について、これまでの調査成果を丹念に読み解く講座で、7月から3月まで特別講座を含め全10回実施した。甲府城の歴史、遺構や石垣等の解説、史料読解、城下町の発掘成果、近代以降の甲府城について、解説した。史料の読解は、演習形式で実施した。受講者は、各自が興味を寄せるテーマについてレポートを作成し提出した。

第1回( 7月19日) 開校式・オリエンテーション

概説①「甲府城の歴史と人」

第2回( 8月16日) 概説②「甲府城の石垣と技術」

第3回( 9月26日) 演習①「甲府城の文献資料を読む」

第4回(10月18日) 演習②「甲府城の絵図を読む」

第5回(11月15日) 特論①「甲府城下の土木技術」

特別回(12月16日) 卒業レポート指導

第6回( 1月10日) 特論②「甲府城下町を考える」

第7回( 1月17日) 特論③「甲府城の近代化」・卒業レポート提出

第8回( 2月21日) 特論④「災害と甲府城」

第9回( 3月21日) 卒業レポート発表

## (4) 甲府城和楽器演奏会「甲府城饗宴」日時：10月8日(土)

鉄門2階にて、筝、三絃、尺八による和楽器演奏会を実施した。県立大学筝曲部「和楽」が演奏を担当し、復元された鉄門のお城らしい雰囲気の中で午前の部・午後の部の2回を開催し、合計120人が楽しんだ。演奏の合間にには、筝曲部が甲府城に関するクイズを出題し、甲府城の歴史や石垣の特徴などを学ぶ機会としても活用することができた。

## (5) 「甲府城で鬼ごっこ」日時：5月14日(土)

小学生を対象に稽古曲輪にて、アスとれ総合型クラブの協力を得て実施した。平安時代にまで起源が遡る歴史的な鬼ごっこ「ことろことろ」を体験したほか、手つなぎ鬼や陣取り合戦方式のもの等、様々な形式の鬼ごっこを参加者が楽しんだ。また、開始前に甲府城の歴史や非常に古い時期の石垣が甲府城跡に残っていることを解説し、会場が貴重な文化財の残る県指定史跡であることの周知を図った。

(6) 「ひらけ！玉手箱リターンズ」日時：11月20日(日)

山梨の伝統技術や江戸時代の遊び、食材などに親しむ機会として企画した文化財のお祭りで、県指定史跡甲府城跡輪荷曲輪、本丸にて実施した。1t近い巨石の石曳きや、石積み体験キット、弓矢や吹き矢、大工仕事、火起こしなどを体験できるほか、甲府の伝統野菜「長桙寺菜」を味わうブースや、甲府と関わりの深い金魚にちなんだ金魚すくいを体験できるブースも設置した。

【主な内容】

- 1) 大昔の生活を知る：火起こし体験、縄文土器に触れる体験、石皿によるドングリすりつぶし体験、どんぐりクッキー試食
- 2) 甲府城で郷土の伝統芸能：伝統的大道芸、甲府に縁の金魚すくい、大工体験、石積み体験、石垣の石引き体験、長桙寺菜の試食、下山甚句
- 3) 江戸時代を体験：千両箱重き体験、甲府城紙芝居、はら貝体験、火縄銃ゴム鉄砲体験、弓矢体験、吹き矢体験、手裏剣体験、泥面子体験、歩測体験
- 4) 郷土の歴史を勉強しよう：甲府城クイズラリー、塗り絵、甲府城ペーパークラフト、文化財関連パンフレット配布



(1) 鉄門展示



(1) 甲州寺子屋



(2) 青空教室



(3) 甲府学問所 繙典館



(4) 和楽器演奏会



(5) 甲府城で鬼ごっこ



(6) ひらけ！玉手箱（大工体験）



(6) ひらけ玉手箱（下山甚句）

## 11 遺跡データ管理 (GIS)

2016年度の遺跡管理システム (Geographic Information System) に登録した遺跡の発見や範囲の変更については、2件であった。内訳は、遺跡範囲の変更修正 (1. 南アルプス市宮東遺跡、2. 南アルプス市 上ノ切第1遺跡) 2件、遺跡の発見は0件であった。

## 12 埋蔵文化財センター峠北収蔵庫遺跡まなび館

2016年度は、身洗沢遺跡・谷村城・大月バイパス関連遺跡・三ノ削遺跡・甲府城下町遺跡(県庁構内)・県内分布調査出土資料を峠北収蔵庫に収納した。搬入した箱の総数は421箱である。

旧峠北高等学校グラウンドを利用している「北杜ボーアイズ」と協定書を結び、収蔵庫周辺の利用に関わる合意を得ることができた。山梨県立博物館と収蔵庫利用の方法を定めた「県立博物館所蔵民俗資料の取り扱いに係わる覚書」を締結した。また、峠北収蔵庫の活用策について学術文化財課と協議しながら計画策定に向けて作業を進めた。

## 13 寄贈・購入図書

図書は、毎年度約3,000冊が寄贈・購入されている。寄贈図書の内容は、全国の都道府県・市町村教育委員会から送付される発掘調査報告書、年報、研究紀要、博物館・資料館などの企画展図録などである。その他にも業務に関する考古学や歴史学の専門書・学術雑誌を購入している。

2016年度は2,677冊の図書を登録し、専門書・学術雑誌の購入は41冊である。総登録数105,347冊に大塚文庫約11,000冊を加えると約116,374冊が収蔵されることになる。

登録された図書データは、図書データベース(マイクロソフト社データベースアクセス)で管理し、蔵書の検索ができるようにしている。

2013年度以降、峠北収蔵庫遺跡まなび館への図書の搬出・整理を行っており、ある程度の収蔵スペースの確保は行われているが、依然として年々増加していく図書の収蔵スペースの確保が課題となっている。

# 第II章 各遺跡の発掘調査等概要

## 1 記録保存のための発掘調査

### 1-1 上コブケ遺跡

所在地 山梨市南地内  
事業名 国道140号(西関東連絡道路)建設事業  
調査期間 2016年5月18日～10月31日  
調査面積 約612m<sup>2</sup>  
担当者 笠原みゆき・長田隆志



本遺跡は、山梨市北・南地内の兄川と弟川に挟まれた山腹のなだらかな南向きの緩斜面(標高約375m)に位置している。この地域はモモやブドウなどの果樹栽培が盛んで、調査前の調査区も果樹畑として利用され、小区画ごとに段差が存在する。また、遺跡周辺には、猪八幡神社(国指定)やナウマン象等の化石(県指定)などが発見された兄川河床遺跡、平安時代末期の土師質土器を生産した荒神山窯跡などが存在する地域である。

本調査区と隣接する国道140号(西関東連絡道路)の本線部分は、2011～2012年にかけて発掘調査(上コブケ遺跡A～D区)を行った。今回は本線道路北側に側道を建設する事業で、工事区域が上コブケ遺跡の包蔵地内にあるため、2016年5月18日から発掘調査を開始した。排土を置く関係から調査区を4分割(調査区西側をE区-1とE区-2、調査区東側をE区-3とE区-4)し、E区-1から調査を始め、10月31日をもって調査を終えた。

調査の結果、E区-1・2から縄文時代中期、E区-3・4から古墳時代と平安時代の遺構・遺物を検出した。縄文時代の遺構は埋甕5基、炉跡2基、集石3基、配石8基、焼土跡8基、ピット43基、溝3条と、遺跡西側を南北方向に流れる兄川の氾濫の痕跡と思われる疊層が確認された。平安時代の遺構は、住居跡3軒、焼土跡5基、ピット122基、溝6条を検出した。調査区西側・東側の両区ともおむね表土直下(40～60cm)の黒褐色土層中から遺構・遺物がみつかっている。

縄文時代では、埋甕は5基あって、E区-1の1号埋甕はほぼ完形に近い状態で出土した。炉跡は2基みつかり、炭化材を少量含む土層を確認できた。また、周辺からは遺物が集中して出土している。集石遺構や配石遺構は、E区-1からE区-2西側付近にかけてみつかった。配石遺構の中には立石と考えられる石材や磨り石が数多く含まれている。焼土跡、ピット、溝はE区-1とE区-2の境目付近から集中し、ピットはいくつか並ぶ様子が伺え建物跡になる可能性が考えられる。

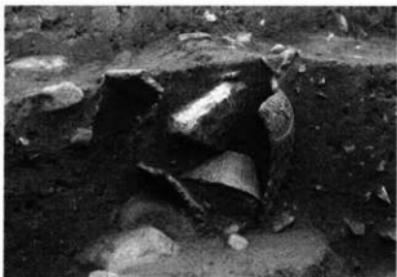
平安時代では、E区-4の東側で粘土層がみられ、搅乱が広範囲に広がっている。そのため、遺構の確認できる範囲はE区-3とE区-4東端南側に集中している。住居跡はE区-3東側で、1～3号住居跡が検出されたが、調査区が狭くいずれも全体のプランは確認できなかった。焼土跡は、E区-3西端や北壁際の住居跡のほか、E区-4東側の搅乱が広がる中にわずかにブロック状に確認された。また、E区-3とE区-4の境目にある北壁際の2号焼土跡からは、古墳時代のS字甕の口縁部と高环が出土している。

E区-1・2とE区-3・4は時代がはっきり分かれる。これは、本線の調査と合致するところである。調査は狭い範囲であったにも関わらず、多くの遺構・遺物が確認された。E区-1では、縄文時代中期の遺物が谷部から集中して出土した。中には1個体が潰れた出土状況もみられ、土器の廃棄場所とも考えられる。また、同じ層から埋甕が発見されている状況は、廃棄と墓域の関係を考える重要な発見となった。E区-1・2では、炉跡や配石遺構が検出され、居住域の様子が窺える。E区-3・4は、奈良・平安時代を主体に、一部、古墳時代の遺構・遺物も発見された。

今回の調査は南側に並走する本線部分と類似しており、本遺跡の範囲が北側に広がっていくことが明らかとなった。これまで調査された遺構などを照らし合わせて考えることで、当地での生活を知る重要な歴史資料となると思う。



1号埋甕検出状況



1号埋甕半截状況



石圓炉跡検出状況



古墳時代の遺物出土状況

## 1-2 雉遺跡

所在地 山梨市牧丘町隼字坂ノ上2398-8ほか  
事業名 国道140号落石・崩落防止対策工事  
調査期間 2016年6月6日～9月2日  
調査面積 61m<sup>2</sup>  
担当者 熊谷晋祐・井上彰雄・塙谷風季



遺跡位置図

周知の埋蔵文化財包蔵地である隼遺跡は、2つの窟造構で構成され、隼山の崖の斜面南東向きに開口している。県土整備部東建設事務所では、従来的に国道140号に面した急傾斜地における落石・崩落防止工事を実施しており、隼遺跡の位置する斜面についても施工することとなった。これにより記録保存のための埋蔵文化財発掘調査を実施した。

隼遺跡を構成する2つの窟造構は、江戸時代後期の『甲斐国志』にみられる窟の特徴の記述から、「大黒窟」と「大士窟」にそれぞれ比定することができる。本報告でもその名称を用いる。

大黒窟は大士窟より標高にして5mほど高い場所に位置し、足場がなければ登ることも困難な急斜面に穿たれた人工の窟である。形状は幅約4.5m、奥行き約5m、高さ1.8mとなり、床面、壁、天井とともに平坦に加工し、直行する面で構成される。奥壁には壇が造りだされている。調査前の現状では土石が崩落堆積しており、この中から天井石と考えられるノミ痕をもつ石が検出された。本来は天井部がもっと前にせり出していたと考えられる。崩落土石を振りきると、ややしまりのある灰白色土が面的に広がる。このうち、わずかながら炭化物が混じる黒色土の範囲があり、1号炭化物範囲とした。さらにこの灰白色土を振り下げるに、岩盤の床面が出現した。奥壁の最下部には長方形の小穴が1.7～1.9m間隔で3箇所穿たれており、それに対応して床面も溝状に振り込まれている。奥壁に穴を穿ち、間隔がほぼ1間であることから、横木を差し込んで堂を構えていたと考えられるが、溝が直線的にはならず排水目的という可能性もある。大黒窟からは遺物は出土しなかった。

大士窟は、隼山の地盤である崖平泥流堆積物に形成された自然の洞窟で、一部は加工されている。形状は幅約4～5m、雨落ちラインからの奥行き約7～8m、高さは奥側が約2～2.5m、手前側が約3～4mである。奥の右手側には1.5m四方で壇と天井を平坦に加工した痕跡が残る。2体の石仏と1基の石造物(灯籠の笠)が安置されており、今でも「穴観音」として地域住民の信仰の場とされ、毎年例祭が行われている。

大士窟では整地されたとされる2つの遺構面を確認した。第1面は近現代に整地されたと考えられる。遺構確認面には大きめの礫が混ざらずやや硬化しており、このうえに2体の石仏が据えられている。石仏のうち馬頭観音には「天明六年隼」の記載がある。遺構は炭化物集中1基と礎石1基である。第2面は平坦になるように整地しており、炭化物を含む焼土が全体的に堆積している。遺構は炭化物集中1基と台座1基、礎石7基、ピット1基である。中央にみられる礎石は主軸に対し直行して列をなしている。側壁上部にはこの礎石列に対応するほど穴が穿たれており、建屋、あるいは複数の間仕切りが存在していたと考えられる。また、洞窟の奥には3つの横穴がある。向かって左手の穴には台座が据えられており、石仏等を安置したと思われる。第2面からは近世後半以降の陶磁器類、寛永通寶などの古銭が出土しており、近世後半に使用された痕跡を示す。

大黒窟の形態は鎌倉に集中的に見られる「やぐら」との類似性が認められる。しかし、その性格は、寺院の奥の院として窟廟ともいいくべき礼拝施設であった可能性が考えられる。一方、大士窟はいわゆる「修行窟」の典型例といえる。窟中央の礎石列より奥を神聖な空間として仏像等を祀り、手前側において護摩焚きなどの修行・祈祷をしていたと考えられる。そして、現在に至るまで民間信仰的な祭祀が行われている。

今回の発掘調査において、当地における中世から近世の宗教的施設の一様相が明らかとなった。隼遺跡をより歴史的位置づけるための今後の課題として、山岳修験との関係、当地と鎌倉の氏族あるいは寺院との関係などについて研究を進める必要がある。

隼山



隼遺跡遠景



大土窟 第1面



大土窟 奥壁横穴中の台座



大土窟 完掘状況



大黒窟 完掘状況

### 1-3 甲府城下町遺跡(総合案内所建設地点)

所在地 甲府市丸の内一丁目2-14  
事業名 甲府駅南口周辺地域修景計画  
調査期間 2016年9月5日～11月18日  
調査面積 約91m<sup>2</sup>  
担当者 依田幸浩・上野桜

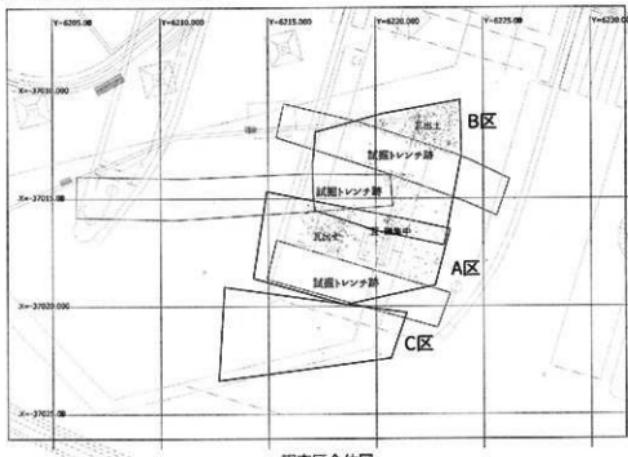
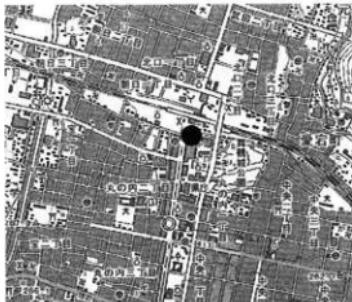
甲府城下町遺跡は、現在の甲府市中心市街地の範囲には該当する。甲府城築城に伴い整備された都市であり、甲府城一の堀に囲まれた「内城」と、二の堀に囲まれた武家屋敷地にあたる「内郭」、三の堀に囲まれた最外縁部にあり商人や職人が集住した「外郭」により構成される。調査地点は、甲府城西側の一の堀に近接した地点である。

甲府駅南口周辺地域修景計画(以下、「修景計画」)における甲府駅南口駅前広場に総合案内所が建設されることとなった。総合案内所建設予定地の旧バス案内所跡(解体済)等北側の調査可能地(南側は道路となっており、調査不可)において2016年6月1から3日に試掘調査を実施し、調査対象地の東側において江戸期の地盤が遺存している状況がわかったため、本調査を行うことになった。

発掘調査では、作業ヤード内の排土置き場が狭小かつ搬出が困難、また調査地南側は現行道路であったため、調査区を3区(A区、B区、C区)に分け調査を行った。それぞれの調査区においてまず、重機による表土剥ぎを行った後に人力による掘削、遺構の精査、遺構削除等の発掘作業を行い、削除及び調査進捗に応じて測量及び写真撮影等の記録作業を実施した。その後は、それぞれ埋め戻しを行った。

調査の結果、A区においては、地表面下約1.1mまで掘削を行い、調査区北西部の落ち込み部分より集中して近世から近代と思われる瓦と礫の出土が見られた。B区においては、地表面下1.7mまで削削を行い、調査区北東において集中して近世から近代と思われる瓦が出土する状況が見られた。また調査区南側において瓦・礫の集中1基を検出した。C区においては、地表面下約1.9mまで削削を行い、調査区西側は攪乱を受けていることがわかった。東側においては、地盤は残存していたが、遺物・遺構は見られなかった。

出土遺物は近世・近代の瓦など、プラスチック収納箱(寸法:30×46×25cm)18箱分である。発掘調査終了後、2017年1月から3月まで基礎的整理作業を行った。





調査前の状況（南より）



調査区遠景（北東より） A区：破線の丸の部分



A区 調査区全景（南西より）  
破線の丸の部分：落ち込み 瓦・礫出土状況



A区 落ち込み 瓦・礫出土状況（西より）



B区 調査区全景（南西より）



B区 調査区北側瓦出土状況（南より）



B区 調査区南端 瓦・石集中出土状況（北より）



B区 北壁 土層堆積状況（南より）

## 1-4 甲府城下町遺跡(試掘・立会調査)

所在地 甲府市丸の内一丁目2-14他  
 事業名 甲府駅南口周辺地域修景計画  
 調査期間 2016年4月1日～2017年3月31日  
 担当者 依田幸浩・浅川一郎・久保田健太郎・上野桜・山本茂樹・加々美鷗実



甲府城下町遺跡 位置図

調査地点は、相川扇状地の扇端部、相川の中下流左岸に位置し、標高271～275mを測る。周知の埋蔵文化財包蔵地である甲府城下町遺跡の範囲内に当たり、甲府城下町遺跡のうち、甲府城一の堀と二の堀に囲まれた武家屋敷地や甲府城の西側一の堀や一の堀に接する道等に該当する。武家屋敷地点においては、柳沢吉保の公用日記「樂只童年錄」所収の絵図に甲府城主柳沢吉保の筆頭家老柳沢権太夫保格の屋敷が描かれている。

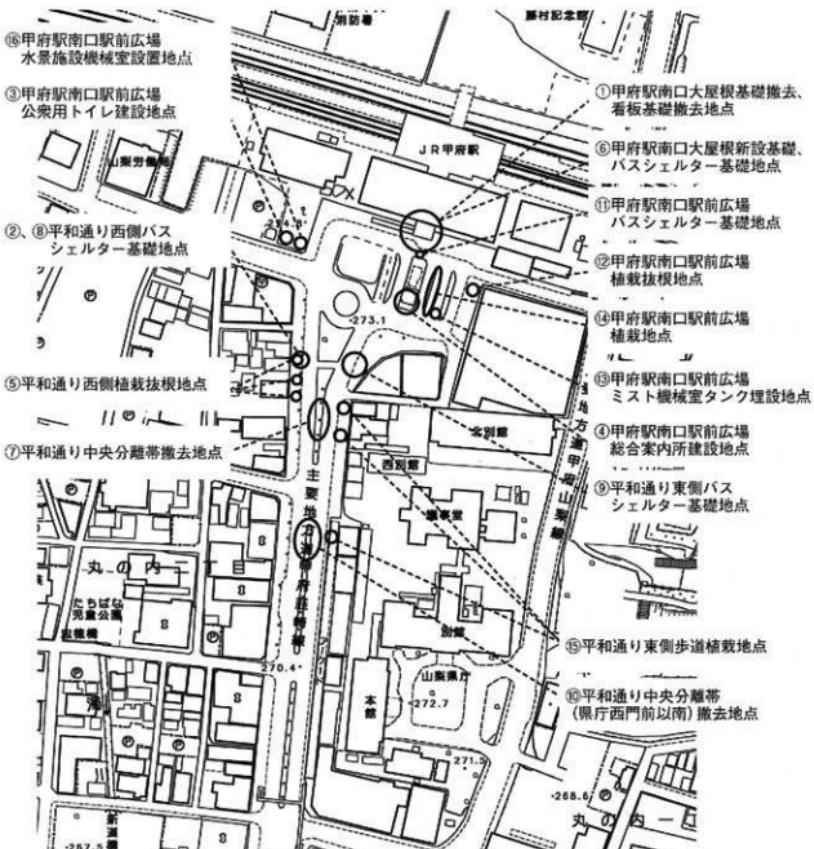
県上整備部都市計画課が行う甲府駅南口周辺地域修景計画(以下「修景計画」)は、「風格ある歴史景観と都市景観が調和した居心地が良い、賑わいのある空間づくり～歴史・文化と縁あふれる賑わい回廊づくり～」を基本理念として、2012年3月に策定された。これに伴い、甲府駅南口駅前広場は修景計画に基づいて交通・交流の拠点として再整備が行われることとなった。修景計画では、駅前広場・道路・公園などの公共施設の再整備が計画され、甲府駅南口駅前広場再整備(2013年3月29日)に伴う工事が順次行われている。

2016年度も県上整備部都市計画課、中北建設事務所、学術文化財課、埋蔵文化財センターの協議の上、甲府駅南口周辺地域修景計画における甲府駅南口前広場の再整備や県道甲府諏訪線(平和通り)整備に伴う工事で影響を受ける周知の埋蔵文化財包蔵地「甲府城下町遺跡」の試掘調査及び立会調査を行った。

### 調査地点等

調査地点	調査種別	調査契機	調査時期	調査担当	調査面積 (約, m <sup>2</sup> )	掘削深度 (約, m)	埋蔵文化財 の有無	措置
① 甲府駅南口大屋根基礎撤去、看板基礎撤去地点	立会	甲府駅南口大屋根建設工事	2016年5月24・25日	依田 上野	10	1.0, 1.3	なし	埋蔵文化財の保護措置は不要。
② 平和通り西側バスシェルター基礎地点	立会	埋設管確認のための土木主体の試掘調査／バスシェルター基礎工事	2016年5月26日	依田 上野	6	1.2	あり	近世の磁器片を検出したため試掘調査が必要。 ※平成28年6・7月に試掘調査実施。
③ 甲府駅南口駅前広場公衆用トイレ建設地点	立会	公衆用トイレ建設工事	2016年5月31日～6月3・6・9日	依田 浅川 久保田 上野 加々美	77.6	2.2	あり	立会調査による記録保存を実施。
④ 甲府駅南口駅前広場総合案内所建設地点	試掘	総合案内所建設工事	2016年6月1・2・3日	依田 久保田 上野 加々美	58	1.8	あり	記録保存による発掘調査が必要。 ※平成28年9・10・11月に調査実施。

⑤ 平和通り西側植栽抜根地点	立会	植栽抜根工事	2016年 6月6・7・8 日	依田 上野	18	1.1、1.3	なし	埋蔵文化財の保護措置は 不要。
⑥ 甲府駅南口大屋根新設基礎、バスシェルター基礎地点	立会	甲府駅南口 大屋根建設 工事、 バスシェル ター基礎工 事	2016年 6月9・10日	依田 上野	40	1.5	なし	埋蔵文化財の保護措置は 不要。
⑦ 平和通り中央分離帯撤去地点	立会	平和通り央 分離帯撤去 工事	2016年 6月10-14日	依田 浅川 上野	147	1.3	なし	埋蔵文化財の保護措置は 不要。
⑧ 平和通り西側バスシェルター基礎地点	試掘	バスシェル ター基礎工 事	2016年 6月27-28- 29、7月1日	依田 上野	18	1.6	なし	埋蔵文化財の保護措置は 不要。
⑨ 平和通り東側バスシェルター基礎地点	立会	埋設管確認 のための土 木主体の試 掘調査／ バスシェル ター基礎工 事	2016年 7月20日	依田 上野	68	1.6	なし	埋蔵文化財の保護措置は 不要。
⑩ 平和通り中央分離帯(県庁西門前 以南)撤去地点	立会	平和通り中 央分離帯撤 去工事	2016年 9月13～16日	依田 浅川	48	1.1	なし	埋蔵文化財の保護措置は 不要。
⑪ 甲府駅南口駅前広場バスシェル ター基礎地点	立会	バスシェル ター基礎工 事	2016年 9月21日	依田	9	1.5	なし	埋蔵文化財の保護措置は 不要。
⑫ 甲府駅南口駅前広場植栽抜根地点	立会	植栽抜根工 事	2016年 10月7日	依田	4	1.2	なし	埋蔵文化財の保護措置は 不要。
⑬ 甲府駅南口駅前広場ミスト機械 室タンク埋設 地点	立会	ミスト機械 室タンク埋 設工事	2016年 11月4・7日	依田 上野	47	3.5	なし	埋蔵文化財の保護措置は 不要。
⑭ 甲府駅南口駅前広場植栽地点	立会	植栽工事	2016年 11月22-26-28 日	依田	100	0.7～0.9	なし	埋蔵文化財の保護措置は 不要。
⑮ 平和通り東側歩道植栽地点	立会	植栽工事	2016年 11月25-26日	依田	18	0.7～0.8	なし	埋蔵文化財の保護措置は 不要。
⑯ 甲府駅南口駅前広場水景施設機 械室設置地点	立会	水景施設工 事	2017年 3月31日	上野 山本	5	矢板の鋼 材(横材) の上辺よ り1.2	あり	記録保存による発掘調査 が必要。 ※平成29年4月に調査実 施。



調査位置図

### 試掘調査

#### ④甲府駅南口駅前広場総合案内所建設地点

甲府駅南口駅前広場に総合案内所が建設されることになり、試掘調査を実施した。なお、総合案内所建設予定地は、一部南側は、道路となっているため、旧バス案内所跡（解体済）等北側の調査可能地において調査を行った。

計画掘削深度は180cm程度であり、試掘調査では調査対象地に試掘溝を東西方向に3本設定した（1号試掘溝：長さ約11m×幅1.7m、2号試掘溝：長さ約8m×幅約1.8m、3号試掘溝：長さ約14m×約1.8m）。調査は重機を用いて掘削しつつ上層の状況を現地表面180cm程度まで確認した。

第1号試掘溝では、溝西端において地表面下約150cmで円形のプラン1基を確認した。遺物については、江戸時代の瓦と思われる瓦片を確認した。

第2号試掘溝では、溝東側では現地表下約90cmで木杭を6本確認した。溝西側では現地表面下約70cmで木杭を7本確認した。

第3号試掘溝では、溝西端において地表下約1.0mで木杭4本確認した。溝南隅の3本の杭においてはセット関係にあると思われ、なんらかの構造物の基礎や地盤改良の木杭と考えられた。溝東から西方向約0.4mから約42m、幅約0.8mのエリアにおいては、地表下約150cmまで掘り下げ、円形のプランを3基確認した。

調査の結果、江戸期の地盤が遺存している状況がわかったため、記録保存のための発掘調査が必要となった。この試掘結果を受け、2016年9・10・11月に記録保存のための発掘調査を実施した。

#### ⑧平和通り西側バスシェルター基礎地点

平和通り西側にバスシェルター（1箇所）が建設されることになった。バスシェルターの基礎地点（2箇所）において、埋設管確認のための試掘の際の立会調査（②平和通り西側バスシェルター基礎地点立会調査：2016年5月26日実施）により地表下約1mの地点から江戸期の磁器片を検出したため、試掘調査を実施することとなった。

基礎設置坑は南北2箇所で、規模は南北ともに約3m四方、工事での掘削深度は地表下150cmであることから、一部深掘りを行い、地表下約160cmの地点まで調査を実施した。

遺物は、明治時代以降の磁器片1点、土管の破片1点が出土したが、明治時代以降の造成土からの出土と考えられた。この他に、遺構・遺物は確認されなかった。

#### 今後について

2017年度も引き続き、甲府南口駅前広場再整備に伴う信玄公像広場の水景施設設置工事や県道甲府並崎線（平和通り）の整備等が予定されており、試掘調査や立会調査により埋蔵文化財の保護措置の必要性を確認することになる。

## 2 整備事業に伴う調査

### 2-1 県指定史跡甲府城跡石垣維持管理事業

所在地 甲府市丸の内一丁目地内  
事業名 県指定史跡甲府城跡石垣維持管理事業  
調査期間 2016年4月1日～2017年3月15日  
調査面積 約20,000m<sup>2</sup>  
担当者 依田幸浩・久保田健太郎・加々美鉢実



整備事業位置図

甲府城跡は、戦国時代末期の文禄慶長期に築城された城郭である。1873年の廃城以来、中央線の敷設等により城郭の規模が縮小されたが、城内には築城期の野面積みの石垣が良好に残っており、1968年には県指定史跡となった。県土整備部による舞鶴城公園整備事業にともない、1990年から石垣の整備を行っている。1990年から2004年にかけては石垣の解体と積み直しによる改修工事等を、2005年から2015年にかけては、砧石による補強等を中心とした石垣補修工事を実施してきた。

2015年からは、県指定史跡内全域の石垣を対象とした石垣維持管理事業を実施する。

#### (1) 目的

1990年度から2004年度にかけて行った石垣改修工事、2005年度から2014年度にかけて行ってきた石垣補修工事を継続してきた。その経緯を受け、2015年度からは、引き続き公園利用者の安全を確保するとともに、約400年前の貴重な文化財である甲府城跡の石垣を保護し、活用していくことを目的とした維持管理事業を実施する。また、本事業を継続することで、文化財石垣の保護と補修に欠かすことのできない在地技術者の伝統的な石工技術を継承・育成も目的とする。

#### (2) 概要

本事業が対象とするのは甲府城跡内にある全ての石垣(文化財に関わる石段、水路等の造構、屋外展示を含む)である。甲府城跡内全域の石垣を維持管理するにあたり、業務を城内全域の石垣を対象に変位状況の観測等を行う「一次点検」と、毎年区域を限定して詳細な調査を行う「二次点検」に分ける。一次点検は、石垣の変位変動の観測や遠望目視点検等により、甲府城跡内全域の石垣の変位変動状況を把握することを目的とする。二次点検は、甲府城跡内全域の石垣を12区画し、毎年その1区画を重点的に詳細点検することを目的として実施する。足場を掛けず、梯子や高所作業車や、ロープ足場を用い、石積み技能者によるハンマーを用いた打音検査等を行い、12ヶ年かけて甲府城跡内全域の石垣を詳細に点検するものである。本年度は、櫛荷曲輪北面石垣及び櫛荷橹東面石垣を対象に実施した。

一次点検、二次点検、二次点検に伴う簡易補修作業は、文化財専門職員、石積み技能者、受託業者で協議しながら進めた。また、点検の方針や方法、点検による成果などについては、県指定史跡甲府城跡調査検討委員会にて検討した。

今年度は、一次点検を昨年度と同じ8月、10月、12月、2月の4回実施し、二次点検は11月に実施した。ゲージ計測器の計測については6月のゲージ設置時に初期値を計測している。

また、1月には全国城跡等石垣調査整備研究会にて、本事業の目的と方法について概要を報告した。



※枠線内の全ての石垣を対象とする



ゲージ計測器設置前検討



ゲージ計測作業



定点測量



石積み技能者による近接目視点検



簡易補修作業



調査検討委員会による現地視察



専門委員による石垣変状データ取得に関する検討



全国城跡等石垣整備調査研究会における概要報告

### 3 県内分布調査

#### 3-1 西関東連絡道路建設事業に伴う試掘調査

所在地 山梨市東字下河原(地内)

調査期間 2016年9月14日～16日

調査面積 408m<sup>2</sup> (調査対象面積2,497m<sup>2</sup>)

担当者 網倉邦生・塙谷風季

本事業は、新環状・西関東連絡道路建設事務所による西関東連絡道路建設事業に伴うものである。施工予定地が周知の埋蔵文化財包蔵地である下河原遺跡内にあるため、試掘調査を実施した。試掘では、8つのトレンチを設定した。1・2号トレンチは、農道の付近であるが、堤防に隣接する造構は検出されず、農道の南側に設けられた石積みは下に連続しなかった。ただし、農道内に連続する石列が確認されており、堤防跡が埋没している可能性は否定できない。石列は施工範囲内に位置することから、用地取得後に再度試掘調査を行う必要がある。また、いずれのトレンチにおいても地表下10cmから40cmで砂層に変化し、20cmから70cmの大形の櫛を含む砂礫層となる。この砂層は、笛吹川の河道内に堆積した砂礫と考えられ、砂礫層の上にある砂層からは19世紀代の近世磁器片や近代の磁器片が出土した。ただし、土層堆積と磁器年代の対応関係はなく、造構も検出されない。このため、国道140号沿いのエリアは埋蔵文化財調査の必要はない。

今回の調査範囲は、大きく分けて、農道に隣接した北側エリアと国道沿いの南側エリアに分けられる。このうち、国道沿いの南側エリアは笛吹川の氾濫原であることが確認され、遺物は出土したもの、造構は検出されなかつたため、埋蔵文化財調査の必要はない。農道に隣接した北側エリアについては、農道の用地取得が行われた後に、試掘調査を行い、埋蔵文化財の有無を確認する必要がある。



試掘調査位置図

#### 3-2 国道141号相生交差点改良工事に伴う試掘調査

所在地 芦崎市藤井町北下條枇杷塚1399-1外

調査期間 2016年9月27日・28日、10月26日

調査面積 28.8m<sup>2</sup> (調査対象面積505m<sup>2</sup>)

担当者 熊谷晋祐・井上彰雄・塙谷風季

本事業は、国道141号相生交差点改良事業に伴う試掘調査である。事業地点は周知の埋蔵文化財包蔵地である枇杷塚遺跡・相生塚跡内に位置しているため、試掘調査を実施した。

試掘地点は、南側地点と北側地点に分かれる。南側地点は、面積約358m<sup>2</sup>に対して、7か所合計21.6m<sup>2</sup>の試掘トレンチを設定した。2～4号トレンチでは、上層で近世以降の遺物包含層を確認した。4号トレンチでは2層で造構確認したところ、土坑群が検出された。そのうち1基からは近世の磁器片が出土している。1・5～7号トレンチにおいても、上層で耕作土と考えられる土層を確認した。5号トレンチでは畦畔を断面で確認していることから、水田であったと考えられる。また、5層(黒褐色砂質シルト層)は、古代以前の遺物包含層である。この層から4・6～7号トレンチで遺物が出土した。4・7号トレンチからは古墳時代の土器片を確認した。

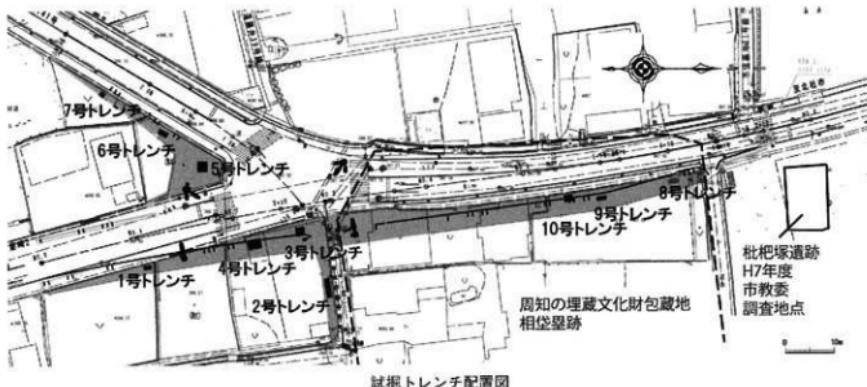


試掘調査位置図

造構確認面は6層(にぶい褐色砂層)となり、7号トレンチでは土坑を2基検出している。

北側地点は北側全体面積約147m<sup>2</sup>に対して、3か所合計7.2m<sup>2</sup>の試掘トレンチを設定した。いずれのトレンチにおいても、南側地点とは様相の異なる堆積層順が確認された。とくに、地表下100cmを前後して、それより下層は河川堆積の砂礫層となる。9・10号トレンチの2c層、2d層(いずれも灰褐色砂質シルト層)からは、中・近世の遺物が出土した。特に、10号トレンチでは2f層(暗赤褐色シルト層)を掘り込んで土坑が2基発見された。

調査の結果から、8号トレンチより北側を除いた施工範囲において、埋蔵文化財の保護措置が必要である。1～7号トレンチにおいては、古墳時代と考えられる遺物包含層と遺構を捉えており、枇杷塚跡あるいは隣接する下横屋遺跡から連続する集落の一角と考えられる。なお、南側および北側の調査により、埋蔵文化財の分布が確認されたため、次年度当初に試掘調査を予定していた中央部についても埋蔵文化財の保護措置の必要があると判断できる。



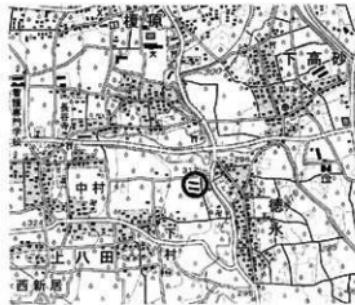
### 3-3 県営住宅八田団地全面的改善事業に伴う試掘調査

所在地 南アルプス市徳永1690  
作業期間 2016年8月23日・24日  
調査面積 12m<sup>2</sup>(調査対象面積12m<sup>2</sup>)  
担当者 今福利恵・須長愛子

周知の埋蔵文化財包蔵地の坂ノ上姫神遺跡にある県営住宅八田団地において全面的改善工事が計画されたことから試掘調査を実施することとなった。

現況は県営住宅の駐車場となっており、工事が及ぶ箇所について試掘トレンチを3ヵ所設定した。試掘トレンチは2×2mの範囲で深さ約100cmまで重機及び人力にて掘削を行い精査した。地表下30～40cmまでは舗装に伴う碎石で、以下しまりのある黄褐色土層となって下層になるにしたがい細礫がしだいに多く含まれるようになる。上層からわずかに土器小片が出土したが、造構は確認できなかった。

周囲の調査から遺物包含層とされる暗褐色土層は確認できず、すでに削平されてしまっていると考えられる。遺物出土もごくわずかで遺構も確認できなかったことから同地点において保護措置は必要ないと判断した。



### 3-4 笛吹警察署石和温泉駅前交番建設工事に伴う試掘調査

所在地 笛吹市石和町駅前18番の一部

調査期間 2016年10月13日

調査面積 9m<sup>2</sup>（調査対象面積45m<sup>2</sup>）

担当者 井上彰雄・塩谷風季

笛吹警察署石和温泉駅前交番建設工事を実施するに当たり、施工範囲が松本塚ノ越遺跡内にあるため、埋蔵文化財への影響を調べるために試掘調査を実施した。松本塚ノ越遺跡は、JR中央線石和温泉駅周辺を対象として、古墳・奈良・平安時代における集落跡として埋蔵文化財包蔵地に登録されている。

試掘調査では重機を用いて、建設予定地の北側に1号トレンチ（東西2.6m・南北1.6m・深度3.1m）、南側に2号トレンチ（東西2.7m・南北2.0m・深度2.55m）の合計2本を設けた。1・2号トレンチとともに層序は同じであるが、層の厚さは多少異なる。地表下145cmまで碎石を含む埋め土が確認される。そこから175cmまでは、直上の碎石の敷設前に山砂で整地した層である。地表下175cmより下層は安定した自然堆積層が確認された。1号トレンチでは遺構が検出されなかつたが、地表下250～270cmに土師器片が多く出土した。2号トレンチは地表下255cmで土坑1基と竪穴住居跡の可能性がある遺構1基が検出し、地表下240cmから多くの土師器片が出土した。今回の調査範囲から確認された遺物は古墳・奈良・平安時代に帰属し、遺構・遺物とも松本塚ノ越遺跡に関連する可能性が高い。この試掘調査の結果を受けた基礎の設計変更を行い、保護層を保って現地保存されることが学術文化財課と県警本部との協議で決定した。



試掘調査位置図

### 3-5 日下部警察署新神金・千野統合駐在所建設工事に伴う試掘調査

所在地 甲州市塙山中萩原字重郎原1326

調査期間 2016年10月20日

調査面積 6m<sup>2</sup>（調査対象面積55m<sup>2</sup>）

担当者 熊谷晋祐・井上彰雄

日下部警察署新神金・千野統合駐在所建設工事に伴い、事業地点は遺跡の包蔵地外であるが、周知の埋蔵文化財包蔵地である重郎原遺跡に隣接しているため、試掘調査を実施した。

試掘調査では、建物建設予定地に長さ2.0m、幅1.0m、深さ90～130cmのトレンチを3か所設定し、重機による掘削後、人力による遺構確認と土層観察を行った。

3つのトレンチの土層堆積状況は、基本的にどれも同様である。土地の利用状況として、宅地があったと思われ、いずれのトレンチにおいても搅乱の埋め土が厚く堆積している（1層～4層）。

1号トレンチでは、埋め土より下層に江戸時代以降の遺物包含層が確認された（5層）。遺物包含層は暗褐色を呈すシルト混じり砂層であり、最も厚い所で35cmほど確認される。5層の下は黄褐色の砂層となり、周辺の遺跡調査結果から地山層と考えられる（6層）。1号トレンチでは遺構は確認されなかった。2号トレンチ、3号トレンチでは埋め土を掘り切ると地山層となる。遺物包含層は既に搅乱を受けたと考えられ、遺構も検出されなかった。以上の結果から、中世以前に遡る遺構・遺物は発見されなかったため、保護すべき埋蔵文化財はないと考えられる。よって、工事に着手しても差し支えないと判断される。



### 3-6 国営施設機能保全事業に先立つ詳細分布調査事業《殿林遺跡・安道寺遺跡》

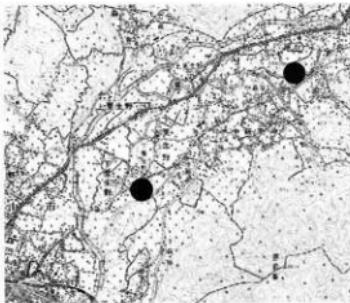
所在地 甲州市塩山上戸原・中戸原・下栗生野地内

調査期間 2017年2月22日～3月30日

担当者 久保田健太郎・熊谷晋祐・上野桜

2014年度より実施している甲州市殿林遺跡・安道寺遺跡周辺の詳細分布調査事業は、農林水産省関東農政局西関東土地改良調査管理事務所笛吹川沿岸支所が実施している笛吹川沿岸国営施設機能保全事業(2012年度～2021年度)に先立ち、埋蔵文化財の破壊を未然に防ぐため、両遺跡の埋蔵文化財の遺存状況や価値づけをしていくものである。

2016年度の事業内容は、現地における聞き取り調査の実施および試掘等の埋蔵文化財調査のための基準紙の測量設置委託、2014年度・2015年度の調査で出土・採集した縄文時代の土器・石器等の整理作業である。聞き取り調査は殿林遺跡を中心に実施し、過去の畑の掘削等で遺物が出土しているかどうか、河川の氾濫・土地造成等の経緯、該地の歴史について土地所有者に対して聞き取りを行い、遺跡の広がりや歴史的環境についての知見を得ることができた。安道寺遺跡では、土地所有者が発見したほぼ完形の鉤手土器を受贈した。また、国上座標基準紙の設置測量を業務委託した。この基準紙を用いて、2014年度の試掘調査のトレンチ位置の記録をとり、次年度以降に実施を予定している試掘調査で使用する予定である。



殿林遺跡(右上) 安道寺遺跡(左下)  
位置図(縮尺1:50,000)

### 3-7 公用車等駐車場整備事業に伴う試掘調査所建設工事に伴う試掘調査

所在地 甲府市丸の内二丁目7-16

調査期間 2016年5月23日～25日

調査面積 65m<sup>2</sup>(調査対象面積1,791m<sup>2</sup>)

担当者 熊谷晋祐・井上彰雄・塙谷風季

本事業は公用車等駐車場整備事業に伴う試掘調査である。事業予定地が周囲の埋蔵文化財保有地の甲府城下町遺跡内にあることから、埋蔵文化財の確認調査を実施した。調査地点は甲府城二の堀の内側にあり、柳沢期以降の絵図では「御蔵」「御米蔵」とされる地点が該当するものと思われる。

試掘トレンチは合計13本配置した。地中の状況は、次のように3つのエリアに分類できる。

①北・東エリア… 地点によっては異なるが、3面におよぶ造構確認面が存在すると思われる。試掘トレンチからは造構は確認されなかったが、整地したと考えられる層が確認された。

②南エリア… 2面の造構確認面が存在すると思われる。このうち11号トレンチからは、2枚目の造構確認面で溝状造構のプランが検出された。12号トレンチにおいても、造構のプランが確認された。

③西エリア… 堀の覆土と考えられる暗青灰色のシルト層が、地表下約200cmの深さで検出された。7号トレンチでは、堀の立ち上がり状の上層を確認した。覆土上部の出土遺物から、近代になって埋められたと考えられる。

江戸時代の造構面は、搅乱を受けていない部分においては良好に残存していると想定でき、当事業に伴って埋蔵文化財の発掘調査による保護措置が必要である。



試掘調査位置図

### 3-8 清里の森アスレチック新設工事に伴う試掘調査

所在地 北杜市高根町清里3545-1

調査期間 2016年7月7日

調査面積 13.8m<sup>2</sup> (調査対象面積85m<sup>2</sup>)

担当者 網倉邦生・井上彰雄

山梨県・県有林課の事業として清里の森に南北軸20m・東西軸14mのアスレチック遊具を新設することになった。この工事に伴い、清里の森第2遺跡内において掘削工事を実施することとなった。このため、埋蔵文化財への影響の有無を調べるために試掘調査を行った。

工事では、施工範囲の東南端に1号トレンチ（南北1.3m・東西3m）、南端に2号トレンチ（南北3m・東西0.9m）、北端に3号トレンチ（南北3m・東西24m）を設けた。1号トレンチでは地表下1.4m、2号トレンチでは地表下1.2m、3号トレンチでは地表下1.9mまで掘削した。1号トレンチから3号トレンチの土層は堆積層順を含めて全て共通しており、上から表土、砂石層、暗灰黄色土層、黒褐色土層の順に堆積していた。1号トレンチにおいては、暗灰黄色土層から杭片、2号トレンチでは暗灰黄色土層からレンガブロックが出土した。いずれも清里の森の造成工事に伴うものと考えられ、暗灰黄色土層は造成時の盛土と考えられる。最下層である黒褐色土層も、長軸10cmから90cmまでの礫を多く含み、清里の森が整備された段階に造成されたものと考えられる。

清里の森アスレチックが新設される『森の音楽堂』西側の広場は、整備された段階で盛上されたことがわかった。工事における掘削深度及び保護層には、遺構・遺物は確認されなかったため、工事を進めても支障はない。ただし、今回の調査地点周辺には清里の森第1遺跡、清里の森第3遺跡など複数の埋蔵文化財包蔵地が確認されているため、開発事業に当たっては調査対応が要される。



試掘調査位置図

### 3-9 統合一級河川整備事業に伴う試掘調査

所在地 莊崎市大草町若尾～竜岡町若尾新田内

調査期間 2016年11月28日～12月1日

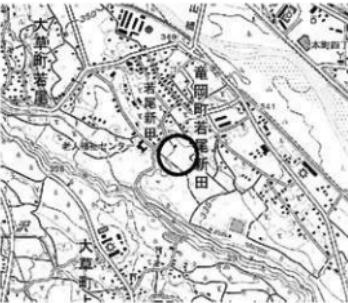
調査面積 201m<sup>2</sup> (調査対象面積約3,220m<sup>2</sup>)

担当者 熊谷晋祐・井上彰雄・塙谷風季

本事業は統合一級河川整備事業に伴う試掘調査である。事業予定地は遺跡の包蔵地外だが、開発面積が広大なため試掘調査を実施することになった。合計で9か所の試掘トレンチを設けて、重機による掘削を行った後、人力による遺構・遺物の確認と土層観察を行った。試掘地点により、堆積状況の違いが確認されたため、堆積が類似するグループごとに報告する。

- ・I類…1～3号トレンチ。上層の水田層以下は、釜無川の氾濫による土砂堆積でいずれも遺構・遺物は認められない。
- ・II類…4～6号トレンチ。4・5号トレンチでは、地表下20～30cmほどの砂礫層から、近現代の遺物が多く出土した。下位の堆積は砂礫層が主体で、いずれも保護対象となる遺物包含層、遺構は認められない。
- ・III類…7～9号トレンチ。地表下10cm前後までは、粒径の大きい砂礫層の堆積がなく、砂層とシルト層が互層となっている。7号トレンチでは地表下30cmで石列を検出したが、それを覆う砂層には近現代の遺物やゴミが含まれており、江戸時代以前に遡るものではない。いずれも保護対象となる遺物包含層、遺構は認められない。

以上の結果から、保護対象となる遺構・遺物は発見されなかっただため、今回試掘調査を実施した範囲内においては、2016～17年度に予定される工事に着手しても差し支えないと判断される。



試掘調査位置図

### 3-10 新山環状道路東部区間建設事業に伴う試掘調査

所在地 甲府市小曲町地内

調査期間 2017年3月13日～17日・22日～24日

調査面積 721m<sup>2</sup>（調査対象面積13,000m<sup>2</sup>）

担当者 綱倉邦生・井上彰雄・塙谷風季

本事業予定地は既存の埋蔵文化財包蔵地外であるが、Br-4地点の北側には小曲氏屋敷跡を含む複数の中世城館跡が分布していることと、事業予定地が広域にわたることから新環状・西関東連絡道路建設事務所、学術文化財課、埋蔵文化財センターの協議に基づき埋蔵文化財の有無を確認するための試掘調査を実施することとなった。Br-1地点に8箇所とBr-4地区に17箇所のトレンチを設定した。試掘調査の結果、近世の遺構面と考えられるものが検出された。「山梨県教育委員会埋蔵文化財事務取扱要項」第3条の規定「近世に属する遺跡については、地域において必要なものを対象とすることができる。必要なものの対象は各市町村の指定文化財を一定の基準とすることができる。」に記載されている通り、今回の試掘調査地点における近世水田遺構は調査要件を満たしていないため、本調査を行う必要性はない。

ただし、Br-4地点の北側には小曲氏屋敷跡を含む複数の中世城館跡が分布していることから、中世段階において生産域として開発された可能性は十分考えられる。12・21号トレンチにおいて確認された近世の水田面下の安定した土層が中世以前の水田である可能性を有していることから、今後の試掘調査において土層の時期比定が検討可能なよう継続的に調査しなければならない。



試掘調査位置図

### 3-11 「子どもの心のケアに係る総合拠点」(仮称)整備に伴う試掘調査

所在地 甲府市住吉二丁目1～16

調査期間 2017年2月13日～17日

調査面積 約448m<sup>2</sup>（調査対象面積約6,100m<sup>2</sup>）

担当者 須長愛子・上野桜・山本茂樹

高度で先進的な医療センター（子どもの心のケアに係る総合拠点（仮称）整備）が県職員研修所・住吉合同庁舎跡地・中小河原合同宿舎跡地一帯に建設されることとなった。当該地には、包蔵地である住吉天神遺跡（古墳・奈良・平安の散布地）があり、埋蔵文化財の有無を確認するため、試掘調査を実施することとなった。

今回の試掘調査においては、建設予定地北側の調査可能となっている住吉天神遺跡隣接地の住吉合同庁舎および中小河原合同宿舎跡地を調査対象地として試掘調査を行った。調査地にトレンチを12箇所設定し、重機による掘削後、人力による遺構・遺物の確認や土層観察等を行った。約200cmで出水がありトレンチの壁が崩壊する等危険が伴うため、トレンチの外側から写真等の記録を取ったトレンチもある。調査地全体において現地表面下400cm前後までは河川による砂の堆積（旧河道ないし河川氾濫堆積層）であることがわかった。標準的な土層堆積は、第1層碎石と棍乱土（約20cm）、第2層茶褐色砂質土（約30cm）、第3層白色砂層（粗砂）（約4cm）、第4層白色砂層（細砂）（現地表面下約400～500cmまで）であった。また、遺構・遺物は、確認されなかった。今回の調査地においては、埋蔵文化財は確認されなかつたため、埋蔵文化財の保護措置は要しないと判断した。しかし、建設予定地南側の職員研修所等の調査対象地においては、旧河道や河川氾濫堆積層に当たらない微高地等が存在している可能性もある。また、包蔵地である住吉天神遺跡を含む地点であるから、この調査対象地においても試掘調査を実施する必要がある。



試掘調査位置図

### 3-12 国道411号古府中環状浅原橋線改良事業に伴う立会調査

所在地	甲府市中央二丁目地内
調査期間	2016年6月1日～3日・6日～8日・14日～17日・20日～24日、8月4日～5日、9月3日・5日・14日・29日・30日、10月4日～6日、12月8日・13日～15日・20日・21日・24日・26日、2017年1月6日・10日・11日・16日～18日・21日・23日・30日
調査面積	約275m <sup>2</sup> （調査対象面積約375m <sup>2</sup> ）
担当者	熊谷晋祐・網倉邦生・井上彰雄・塙谷風季



本事業は国道411号古府中環状浅原橋線改良事業に伴うもの

で、「NTT 甲府支店西」交差点周辺の道路拡幅及び地中電線共同溝埋設工事に係り立会調査を実施した。事業予定地は周知の埋蔵文化財附蔵地である甲府城下町遺跡の町人地にあたり、近接する地点の調査においても重要な成果が挙がっている。また、甲府市上下水道局による水道管等の埋設工事についても甲府市教育委員会との取り決めにより、国道411号（城東通り）の拡幅に係って施工されるものについては、立会調査を実施している。

立会調査は工事内容に合わせて以下のとおり大きく5つの工程に分けられる。①既設の埋設管の位置を確認するための試掘調査に伴う立会調査、②国道北側の施工地点における未知の管路を確認するための試掘調査に伴う立会調査、③NTT 東日本甲府支店施設内から国道に延びる下水道を切り回す工事に伴う立会調査、④国道北側の電線共同溝及びガス・水道管路の掘削工事に伴う立会調査、⑤国道南側の電線共同溝及びガス・水道管路の掘削工事に伴う立会調査である。このうち工程②については、良好に埋蔵文化財が発見されたため、作業員による人力の精査及び遺跡管理システムを用いて位置情報等の記録保存に努めた。

調査では、埋植造構4基、水路4基、礎石5基、礫集中造構1基、配石造構3基、石組造構2基、焼土土坑5基、土器埋納造構1基と、地点により土間状の造成面が確認された。出土遺物についても、造構の内外より中世末頃～近代にかけての土器・陶磁器類がプラスチック収納箱で4箱分出土した。造構は、良好に残存している地点で、地表下50cmから100cmほどまで連続的に確認される。重機掘削時に造構や遺物包含層が確認できた場合、一度重機による掘削を止め、人力で精査した後に記録を取った。

調査で検出された造構は、甲府城下町遺跡の町人地、いわゆる町屋の構造を知る上で重要である。水路造構は江戸時代や近代の地割りと合致し、屋敷地の境界を水路にしていたと考えられる。特に1号水路は柳町一丁目と八日町一丁目の境に位置する、町割を示す「背割り溝」である可能性が高い。また焼土土坑は、火災などによって被害を受けた家財や生活用具を一括して廃棄したものであり、1号焼土土坑は17世紀前半、2号焼土土坑は17世紀後半の遺物が主体である。2号焼土土坑からは、複数点の板塀瓦が出土しており、甲府城下町の町人地において17世紀後半頃に瓦葺きの屋があったことを示すものである。

今回の立会調査で、すでに宅地化した地点においても、地表下50cm～100cmほどに埋蔵文化財が良好に残存していることを確認した。重機掘削前に発見された造構や遺物については保護措置を執ったが、周辺にもなお埋蔵文化財の分布が広がっていくことが想定でき、開発行為がある際には厳密な協議とともに埋蔵文化財の保護が必要である。



### 3-13 県立都留興譲館高等学校建設事業に伴う立会調査

所在地 都留市上谷五丁目7-1外  
調査期間 2016年4月11・12・18・26・27日  
調査面積 169m<sup>2</sup> (調査対象面積約200m<sup>2</sup>)  
担当者 熊谷晋祐・塙谷風季

本事業は県立都留興譲館高等学校建設事業に伴う立会調査である。事業予定地は周知の埋蔵文化財包蔵地である三ノ削遺跡内に位置し、2010年度より当事業に係わって本調査及び立会調査を実施している。

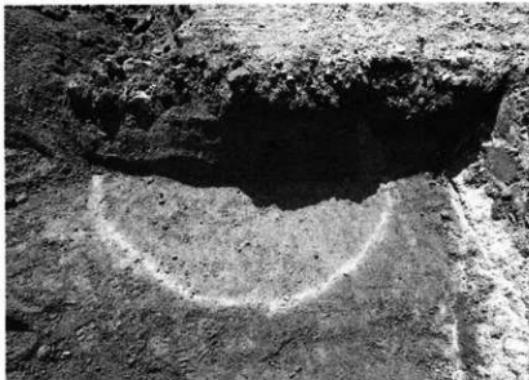
施工内容は、I：新校舎から体育館、文化創造館に埋設されている地中電線配管の切り回し工事、II：新設する渡り廊下及び校舎基礎の掘削工事である。

Iの地中電線の切り回し工事に際して、i.既設配管の撤去、ii.新規ハンドホールの設置、iii.新規配管の埋設工事の際に立会調査を実施した。i.既設の弱電配管配線は、地表下70cm～100cmにかけて東になって配置されており、配線の周辺はサンドクッションされていたため、地山層の検出には至らなかった。ii.新規に埋設されるハンドホールは、約12立方メートルの直方体である。2.5m×2.5mの範囲を地表下120cmまで重機で掘削した。地表下120cmほどで、中・近世の遺構確認面に相当する土層が確認されたため、平面的に遺構確認を行ったが、遺構・遺物は発見されなかつた。iii.新規埋設工事は、渡り廊下の基礎のベースとベースの間(基礎工事の際、地盤改良が及ばない深度)で施工された。切り回し箇所には既存のハンドホールがあり、撤去後に壁面などを精査し、遺構・遺物の有無を確認したが発見されなかつた。その後、東西幅1.1m×南北長6.4mで地表下270cmまで重機による掘削を行つたが、この地点からは遺構・遺物は確認されなかつた。

IIの新設する渡り廊下および校舎の基礎部掘削工事に伴う立会調査の範囲は、新校舎の基礎部分(約74m<sup>2</sup>)と渡り廊下の基礎部分(約82m<sup>2</sup>)である。このうち、全体(基礎間の梁の部分を含む)については地表下160cmまで掘削することから、2015年度調査時の第1面にあたる遺構確認面で遺構精査を実施し、基礎のベース部分(校舎は3m×3m、渡り廊下は2m×2mずつ)については地表下3m以上に地盤改良工事が及ぶため、2015年度調査時の第2面に当たる遺構確認面でも調査を実施した。調査は重機により表上の掘削後、遺構確認面において人力による遺構精査を実施し、調査地点及び遺構は光波測量器と遺構管理システムを使用して記録した。新校舎の基礎予定地点から、第1面相当の確認面で、擾乱に対して半円を描くように土坑が1基検出された。土坑は径130cm、深さは35cmでオーバーハングする。遺物の出土はなかつたが、覆土の特徴から中近世以降に比定できる。渡り廊下基礎に該当する地点では、遺構・遺物が確認されなかつたため、このまま工事を進めて差し支えないないと判断した。発見された第1面の土坑は、本調査時にも類例が見つかっている。地点によっては、擾乱を受けていた箇所も見られたが、地点によっては盛土も少なく良好な土層堆積をしている様子が確認できたため、周囲を新たに掘削等する場合には、埋蔵文化財の保護が必要となる。



立会調査位置図



立会調査で検出された土坑

### 3-14 舞鶴城公園整備事業に伴う立会調査

所在地 甲府市丸の内一丁目地内  
調査期間 2016年4月28日、7月6日～28日、11月25日～  
12月22日  
調査面積 70m<sup>2</sup>（調査対象面積70m<sup>2</sup>）  
担当者 依田幸浩・久保田健太郎・網倉邦生・井上彰雄

舞鶴城公園内の木橋老朽化に伴い、木橋改修工事が実施されることになった。築石や栗石など石垣に関連する造構が工事掘削で破壊される可能性があるため、まず木橋の発注に先立ち、4月28日に事前立会調査として木橋の基礎坑の周辺を一部掘削した。その後に工法と資材について協議した。

事前立会調査では地表下約60cmまで人力による掘削を行ったが、当該地点の石垣天端石及び一部の石垣は公園整備時に積み直したものであるため、当該裏栗石は公園整備時のものと考えられる。

工事の準備期間を経て、改修工事での基礎坑の掘削作業は、天守台南側の内周には新たに木橋を設置するため、新規の基礎坑を人力によって掘削したが、その他の地点においては既存の基礎位置をできるだけ踏襲して更新作業が行われた。更新及び新規に設置される木橋の基礎坑の掘削深度は地表下約65cmであり、地表下約20cmまで表土、地表下約20～65cmまで公園整備時の石垣天端石積み直しの際に入れられた栗石であった。

今回の立会調査において、県指定史跡の主たる構成要素である築城期及び江戸期の造構（築石・栗石等）に影響を及ぼすような作業は行われないことを確認し、本作業における史跡の保護措置の必要はないものと判断した。



立会調査位置図

### 3-15 曽根丘陵公園防災公園整備事業に伴う立会調査

所在地 甲府市下向山町地内  
調査期間 2016年5月11日～13日・16日  
調査面積 11m<sup>2</sup>（調査対象面積約124.2m<sup>2</sup>）  
担当者 熊谷晋祐・塙谷風季

曾根丘陵公園防災公園整備事業に伴う立会調査である。工事内容は東屋2棟の基礎撤去と再設置と、舗装道路の撤去と再敷設の2工程である。

舗装道路については、東屋の立会調査での土層観察の結果で対応の可否を判断することとした。

東屋の基礎を再設置するため、110cm×110cmの範囲が8箇所設定された。掘削深度が地表面下約70cm～90cmで地山層が確認され、地表下約90cm以深から擾乱が確認されたのは2箇所である。残存している深さで約20cmの溝が隣接するレンチ2箇所から縦線が共通しており、同一の溝と想定される。今回発見された造構及び壁面で確認された覆土は、非常に限定的に確認されたものである。しかし、今回の調査地点の東南側でもこれまでの調査で方形周溝系が発見されている点や、旧地形が比較的なだらかに連続している点などからしても、方形周溝系の広がりが想定でき、今回確認できた溝が方形周溝系の一部である可能性がある。今回の立会調査では、検出した造構についての記録を取り、厚さ15cmの碎石敷設により造構面自体は保護される。

また、土層観察の結果から、舗装工事については造構面に及ばないと判断されたため、慎重工事と判断した。ただし、曾根丘陵公園造成工事の施工範囲（駐車場等）においても、造構が残存している可能性を有しているため、今後も掘削を伴う開発行為には埋蔵文化財の保護措置が必要である。



立会調査位置図

### 3-16 甲府地方家庭裁判所都留支部新庁舎建設事業に伴う立会調査

所在地	都留市中央二丁目1-1
調査期間	2016年7月11日～13日・21日・22日・27日～29日、 8月1日・8日・23日・24日、9月12日・21日、 12月21日・22日・26日、2017年1月6日・10日・ 11日・16日～20日・23日～25日、2月1日
調査面積	2,991.3m <sup>2</sup> （調査対象面積2,991.3m <sup>2</sup> ）
担当者	網倉邦生・井上彰雄・塙谷風季

甲府地方家庭裁判所都留支部新庁舎建設事業に伴い、2014・

2015年度に新庁舎建設予定地の発掘調査を実施し、2016年度

は裁判所庁舎周囲の南側（2016年7月11日～同年9月21日）と北側（2016年12月～2017年2月）を中心とした外構工事を実施することとなったため、当該事業にかかる埋蔵文化財保護のための調査として、庁舎の外構工事により影響を受ける部分について、面積が狭小であるため、立会調査を実施した。工事の内容は電柱埋設工事、電気設備工事、水道管敷設工事、石積撤去、鉄筋コンクリート造成工事、管路掘削工事、駐輪場造成・緑石・電気設備、水道管敷設工事、鉄筋コンクリート造成・緑石工事、基礎造成、管路掘削、緑石工事、舗装工事、鋤取り工事、庁舎西側管路工事、仮庁舎基礎コンクリート解体工事、緑石工事、ラップコンクリート撤去工事、東門造成工事、東側スロープ造成工事、駐車場造成工事、東西管路1造成工事、東西管路2東側・南北管路1～4・西門造成工事、東西管路2西側・東西管路3・南北管路5～7・西門造成工事、西門造成工事、ポール灯・フェンス造成工事である。

管路掘削工事において、長軸4.3m、短軸0.8m、地表下115cmの掘削範囲で、中世～江戸期にあたる遺構面3面から土坑が1基（210号土坑）検出された。長軸4.45m、短軸0.8m、地表下100cmの掘削範囲で、4面から土坑1基（211号土坑）が検出され、北西側の端部に石を数段積みあげた遺構が検出された。これは、2015年度発掘調査時に確認された谷村陣屋期（19世紀頃）の2号石組と判断される。鉄筋コンクリート造成工事・緑石工事において、長軸7.0m、短軸2.5m、地表下60cmまで掘削したところ、上坑（212号土坑）が検出され、覆土から近代の磁器片等が出土した。基礎造成・管路掘削・緑石工事において、掘削地点東側でコンクリート製の方形基礎が2基検出され、谷村区裁判所の門柱に係わる遺構である可能性を有する。掘削地点西側では長軸4.0m、短軸2.5m、地表下90cmの掘削範囲から覆土に多数の瓦が充填された土坑（213号土坑）が出土した。東側スロープ造成工事において、2015年度調査の際に検出された1面2号敷石遺構から続く敷石遺構が検出されたため、3号敷石遺構として認定し、記録保存措置を行った。3号敷石遺構はポール灯工事の際にも出土し、最終的に南北12.0mで北側にさらに延びる形状が確認された。また、3号敷石遺構から約1.5m離れた位置に平坦面を上に向かって礎石状の砾が2基出土したため、8・9号敷石遺構とした。駐車場造成工事において、南北方向に連続する10号敷石遺構が検出された。東西管路造成工事では地表下80cmから100cmまで掘削した。1面の黄褐色土層より確認された4～7号敷石遺構は2015年度に調査された2号敷石遺構（19世紀頃）から連続する敷石と軸線が共通するため、同一の遺構と判断される。西側で検出された137点の瓦を覆土に含む214号土坑は2面の構成土層より出土した。西門造成工事では、施工範囲（南北11.0m・東西長軸2.5m）を地表下100cmまで掘削したところ、上坑2基（4面216・217号土坑）が確認された。ポール灯造成工事において、南北1.0m・東西1.0mを地表下100cmまで掘削し、2面に比定される土層から幅1.0m程度の粗砂を含む掘り込みが断面で確認された。平面的には調査できなかったが、覆土の特徴から水路の可能性を考えられるため、43号溝状遺構として認定した。

立会調査により多数の遺構・遺物が出土しており、調査地点は山梨県東部地域の中心であったことが窺われる。今後とも甲府地方家庭裁判所都留支部の敷地において掘削工事を行う場合は、立会・試掘調査を行う必要性がある。



立会調査位置図

### 3-17 県庁舎北別館非常用発電機燃料タンク設置工事に伴う立会調査

所在地 甲府市丸の内一丁目6-1

遺跡名 甲府城跡

調査期間 2016年10月25日・28日

調査面積 13m<sup>2</sup>（調査対象面積13m<sup>2</sup>）

担当者 依田幸浩・浅川一郎



立会調査位置図

本事業では北別館西側に燃料タンクを設置し送油管を埋設することになった。当該地は甲府城柳門跡に近接し、北東北-南南西方向の堀と石垣が存在した地点である。2003年度および2014年度の試掘調査では送油管理設置予定経路東端の南側で石垣が検出されている。

石垣の推定ラインから西側は2014年度に実施された県庁舎耐震化等整備事業外構整備により約1mの盛土(碎石)が施された。今回の事業の掘削深度は50~80cmの予定であることから、盛土部分の立会は行わず石垣推定地周辺およびその東側の掘削工事のみ立会調査を実施した。

掘削範囲は東西9.2m、南北1.3~1.5mで、掘削深度は70~80cmである。地表面は全面厚さ10cmのコンクリート盤で覆われており、その下位層は地点により異なるが、全城が近現代の堆積層または擾乱層であった。甲府城に係わる遺構・遺物は検出されず埋蔵文化財の保護措置は必要なかった。なお、今回の掘削深度よりも深部に遺構が残存している可能性があるため、今後も掘削を行う際は注意が必要である。

### 3-18 日川外浚渫工事に伴う立会調査

所在地 甲州市勝沼町下岩崎地内

調査期間 2016年4月18日

調査面積 5.7m<sup>2</sup>（調査対象面積5.7m<sup>2</sup>）

担当者 綱倉邦生・井上彰雄



立会調査位置図

日川外浚渫工事は、2014年度に事業対象地に係わる埋蔵文化財包蔵地のうち、第1~3号水制までの立会調査が既に終了している。2016年度施工する第4・5号水制の工事について、日川水制群に係わる掘削工事を実施するため、立会調査を行った。工事では、第4号水制の東側において、東西2.7m・南北1.3m、西側において東西22m・南北1mの範囲をそれぞれ地表下約1m程度掘削した。掘り下げた施工範囲では、水制遺構の底面は検出されなかった。文献資料によると、水制の高さは、9尺5寸(2879m)と8尺(2424m)の2種類とされ、今回掘削したレベルよりも約1mから2mほど下に水制遺構の底面があると考えられる。

掘削範囲の土層断面は、第4号水制の東側では、現地表面から25cmまで褐色細砂層が堆積し、その下に70cmの直径5~10cm礫を含む暗灰褐色粗砂層が確認された。一方、西側では、現地表面から25cmまで黒褐色上層が堆積し、その下に灰白色細砂層(45cm)、直径10cm礫を含む黒褐色土(5cm)、灰白色上層(25cm)の順に堆積している。道路が舗装される範囲において、水制の平面形はT字形を呈しており、頭部が地下に残されていると考えられる。なお、今回の掘削では遺物は出土しなかった。日川水制群は、山梨県の治水史の中で重要な遺跡であり、現況の保存が求められる。今後の開発行為においても保護措置を取ると共に、掘削範囲において埋没した水制遺構を記録する必要がある。

### 3-19 県立桃花台学園グラウンド排水改修工事及びスロープ設置工事に伴う立会調査

所在地 笛吹市石和町中川1400

調査期間 2016年10月11日・24日・25日

調査面積 16.7m<sup>2</sup>（調査対象面積16.7m<sup>2</sup>）

担当者 綱倉邦生・井上彩雄

県立桃花台学園グラウンド排水改修工事及びスロープ設置工事は、2015年度に立会調査を行っている。本年度、同じ範囲で新たに排水改修工事及びスロープ設置工事を実施することが決まり施工範囲が狐原遺跡内にあることから改めて立会調査を行うことになった。

工事の内容は、10月11日に排水改修工事範囲で5か所を選び、工事の掘削深度まで掘り下げた。次いで、24日にスロープ設置工事の施工範囲内において工事の掘削深度まで掘り下げたところ、平安時代の遺物を含む遺物包含層が確認された。このため、25日のスロープ設置工事に立ち会い、埋蔵文化財の記録保存措置を取った。

掘削地点1～4は、排水改修工事に伴うU字溝施工範囲、掘削地点5は集水井施工範囲である。これらの掘削範囲においては、遺構・遺物は確認されなかった。

スロープ設置工事範囲内においては、地表下130cmまではグラウンド造成土で、地表下130cmから160cmまで黒褐色シルト層が堆積していた。黒褐色シルト層は安定的に堆積しており、平安時代の环皿や甕などの土師器を包含していた。このため、黒褐色シルト層を遺物包含層と捉え、本施工における立会調査を実施した。スロープ設置工事では、掘削範囲では黒褐色シルト層が面的に堆積しており、平安時代の环皿や甕、須恵器の甕などが出土した。遺物にローリングの痕跡が確認されず、黒褐色シルト層中より完形に近い坏も検出されていることから、狐原遺跡の遺構確認面の広がりが把握できた。

スロープ設置工事の範囲内から遺物包含層が検出されたことから、県立桃花台学園における今後の開発行為には注意を要する。特に、施工範囲・掘削深度が大きいものについては、試掘調査により埋蔵文化財の有無を確認するなどの保護措置を講じる必要がある。



立合調査位置図

# 第Ⅲ章 県内の概況

## 1 届出件数と内容

2007年度より文化財保護法施行令第5条により県教育委員会が行うこととされている文化財保護法第93条の指示及び第94条の勧告に係る権限の一部を、富士吉田市を除く11市に移譲し、平成20年度には富士吉田市へ、2010年度には身延町および富士河口湖町へ権限を移譲したことにより、県下の14市町へ文化財保護法第93条・第94条に係る権限の一部を移譲した。権限移譲を行ったのは指示・勧告のうち工事立会、慎重工事などの軽微なもので「発掘調査」や「試掘・確認調査」の指示・勧告は現行どおり県教育委員会にて行っている。権限移譲にあたって、埋蔵文化財の専門知識と客観的かつ合理的な基準が必要となることから埋蔵文化財専門職員が設置されている自治体を対象とし、山梨県教育委員会の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例により実施した。よって2007年度以降の届出件数について、権限移譲した分があるため県への届出件数が減少している。

2016年度、県内の埋蔵文化財調査による届出件数については、法92条：8(8)件、法93条：162(190)件、法94条：36(34)件、法96条：0(0)件、法97条：0(2)件、法98条：0(0)件、法99条：194(219)件である。届出の総件数は400(453)件であり、前年度と比較すると、その件数は53件の減少となっている。

※( )内数字は前年度。過去20年間の件数の変遷は40頁の表のとおり。

## 2 発掘調査

2016年度に実施された県内の発掘調査件数は、40頁の表のとおり試掘調査を含めて 202(227) 件(発掘調査・学術調査等含む)となっている。その内訳は、県教委による調査が 11(13) 件、市町村教委による調査が 183(206) 件、民間調査組織による調査が 8(8) 件である。発掘調査の原因は、道路 17(20) 件、鉄道 0(0) 件、河川 1(0) 件、学校建設 3(3) 件、集合住宅 14(7) 件、個人住宅 43(70) 件、工場 7(0) 件、店舗 10(10) 件、個人住宅兼工場又は店舗 2(3) 件、その他建物 28(29) 件、宅地造成 37(29) 件、上地区画整理 0(2)、公園造成 0(0)、ガス・電気・電話・水道 6(1) 件、農業基盤整備事業 10(12) 件、農業基盤整備事業以外の農業関係事業 2(3) 件、土砂採取 0(0) 件、その他開発 13(30) 件といった緊急調査と、学術調査 2(4) 件、保存目的の範囲確認 0(1) 件、遺跡整備 0(1) 件があった。緊急調査では、地方公共団体が行う公共事業では概ね昨年と同様の件数であるが、民間開発においては昨年に引き続き宅地造成に大幅な増加傾向がみられた。

※( )内数字は前年度。

## 3 県・国指定有形文化財(考古資料) 及び県・国指定史跡

2016年度は、指定有形文化財(考古資料)と史跡いずれにおいても新たな指定はなかった。現在、山梨県内の県指定有形文化財(考古資料)は 42 件、県指定史跡は 29 件、国指定有形文化財(考古資料)は 6 件、国指定史跡は 15 件である。

## 4 発掘調査の成果と保存整備事業

前述のとおり、発掘調査は試掘調査も含めて 202 件実施されている。山梨市の牛遺跡の調査では、礼拝施設や修驗に利用されたと考えられる 2 つの窟遺構が発見された。信仰の歴史を知る上で貴重な調査事例であるとともに、岩盤削などの土木技術の痕跡もみられ注目された。甲州市の后畠西遺跡・ケカチ遺跡では、奈良・平安時代の集落が発見され、「風字硯」と呼ばれる須恵器製の硯や鉄製の鍤が出土した。北杜市の上原遺跡では、縄文時代中期末葉と後期の柄鏡形敷石住居を含む縄文時代の住居址が 144 軒発見された。

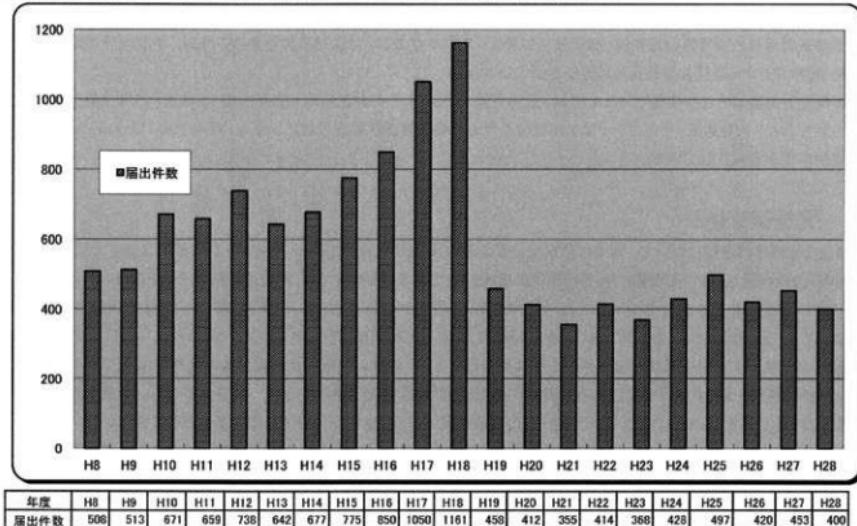
国指定史跡関連の保存整備事業としては武田氏館跡（甲府市）で梅翁曲輪周辺の掘と土塁整備、新府城跡（韭崎市）で大手周辺の発掘調査、梅之木遺跡（北杜市）で環状集落部分の盛り土整備及び竪穴住居復元整備、勝沼氏館跡（甲州市）で遺跡説明看板の建替等の再整備、御勅使川旧堤防（南アルプス市）で保存整備委員会の実施、甲斐国分寺跡・国分尼寺跡（笛吹市）で保存整備委員会の再開などが実施された。

県指定史跡関連の保存整備事業としては、連方屋敷（山梨市）の内郭部整備や竜塚古墳（笛吹市）の墳丘保存整備が実施されており、於曾屋敷（甲州市）では公園整備のための発掘調査が実施された。また、甲府城跡（甲府市）では石垣維持管理事業が実施されている。

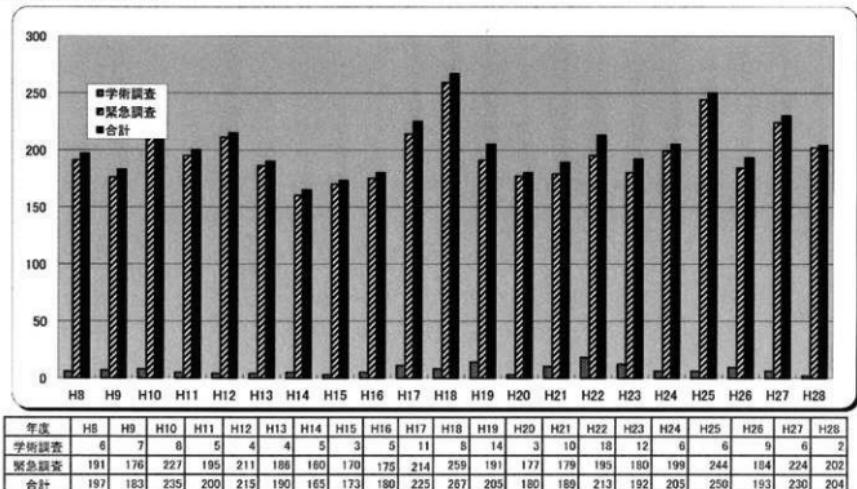
## 5 発掘調査体制

埋蔵文化財専門職員について、県では学術文化財課4名、埋蔵文化財センター24名（うち教員派遣交流3名、非常勤嘱託6名）、博物館2名、考古博物館6名（外に非常勤嘱託2名）である。市町村では、甲府市7名、富士吉田市2名、甲州市2名、大月市1名、韭崎市2名、南アルプス市3名、笛吹市5名、甲斐市2名、北杜市5名、山梨市3名、中央市2名（昭和町を兼務）、都留市1名、上野原市1名、身延町1名、富士河口湖町1名、それ以外の町村は0名、となっている。近年、専門職員の新規採用など埋蔵文化財担当者が増員される事例もみられるが、現状の埋蔵文化財担当者の配置率は、27市町村のうち16市町村で約59%であり、平成15年度の61%（64市町村のうち39市町村）と比べ減少している。埋蔵文化財担当職員数は54名から18名減の36名（嘱託等含む）の配置状況であり、市町村合併や発掘調査事業量の減少に伴い組織編成が行われたことや、埋蔵文化財専門職員の配置換えが行われたことによって、配置職員数も減少となっている。また専門職員の退職がここ数年で大きな山を迎えることが予想される。さらに文化財専門職員未設置の自治体では、文化財行政にも支障をきたす事例も発生している。このように、埋蔵文化財行政をとりまく環境は大きく変化しており、実情に見合った適切な専門職員配置は大きな課題である。行政としては、記録保存のための発掘調査の実施にとどまらず、これまでの膨大な調査成果の蓄積を適切に保存・活用し、歴史を活かした地域づくりに資するなど、多様な業務を実施し、国民の期待に応えることが求められている。

届出件数の推移※H19年度以降は専門職員配置市町内での処理件数は含まない。



#### 発掘調査件数の推移



## 2016年度 県内発掘調査一覧表

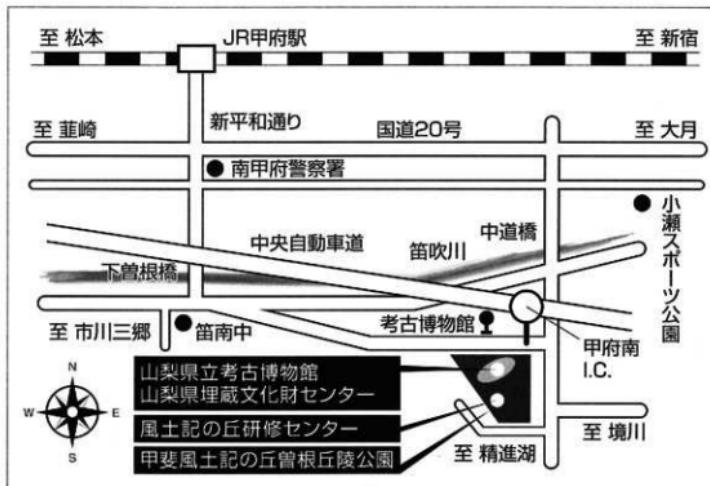
No.	遺跡の名体	所在地	所 在 地	面積 (sq)	遺跡の特徴	時代	調査目的	調査着手年	調査期間
1	古墳道路	宇都宮市公園	宇都宮市公園	110.00	遺跡群	平安・中世・近世	個人住宅	1126.1.13 ~ 1126.1.13	
2	六角池自然	宇都宮市	山田アルプス山麓下流	24.00		平安・平安・平安	宅地造成	1126.4.8 ~ 1126.5.29	
3	御所山遺跡	宇都宮市	中央通り・宇都宮駅前	100.00	遺跡群	绳文・平安・平安	宅地造成	1126.4.15 ~ 1126.5.29	
4	鬼子母神跡	宇都宮市	宇都宮市中央通り・下原	283.37	古跡群	绳文・竹生・平安	その他の施設	1126.4.18 ~ 1126.4.18	
5	御所山遺跡	宇都宮市	中央通り・宇都宮駅前	2.00	古跡	平安	個人住宅	1126.4.25 ~ 1126.4.25	
6	御所山遺跡	宇都宮市	中央通り・宇都宮駅前	2.00	古跡	平安	個人住宅	1126.4.25 ~ 1126.4.25	
7	御所山遺跡	宇都宮市	中央通り・宇都宮駅前	226.00	遺跡群	平安・近世	個人住宅	1126.4.25 ~ 1126.4.27	
8	赤城山古墳群	宇都宮市	赤城山山頂付近	1096.00	古跡	平安	その他の施設	1126.5.1 ~ 1126.5.12	
9	山田川遺跡	宇都宮市	山田川河岸	612.00	古跡	平安	個人住宅	1126.5.18 ~ 1126.10.31	
10	1.コケ跡跡	宇都宮市	中央通り・宇都宮駅前	900.00	遺跡	平安	その他の施設	1126.5.23 ~ 1126.5.25	
11	1.赤城山古墳群	宇都宮市	中央通り・宇都宮駅前	14.00	古跡	平安	個人住宅	1126.5.23 ~ 1126.5.24	
12	赤城山古墳群	宇都宮市	中央通り・宇都宮駅前	10.50	古跡	平安・古墳・平安・平安	集合住宅	1126.5.28	
13	御所山遺跡	宇都宮市	中央通り・宇都宮駅前	12.00	古跡	平安・古墳・古墳・古墳	山梨県教育委員会	1126.5.12 ~ 1126.5.20	
14	鬼子母神跡	宇都宮市	山田川河岸	27.30	古跡	平安	石碑	1126.5.20	
15	鬼子母神跡	宇都宮市	山田アルプス山麓上流	11.98	古跡	平安	石碑	1126.5.20	
16	鬼子母神跡	宇都宮市	山田アルプス山麓上流	31.12	古跡	平安	石碑	1126.5.20	
17	鬼子母神跡	宇都宮市	山田アルプス山麓上流	10.00	古跡	平安	石碑	1126.5.20	
18	板田遺跡	宇都宮市	山田アルプス山麓上流	4.00	古跡	平安	個人住宅	1126.5.21	
19	1.古代道路	宇都宮市	山田アルプス山麓上流	9.00	古跡	平安	個人住宅	1126.5.21	
20	1.古代道路	宇都宮市	山田水道・山内	180.00	古跡	平安	その他の施設	1126.5.21	
21	甲斐守所跡	宇都宮市	山田水道・山内	2640.25	古跡	平安	個人住宅	1126.5.21	
22	1.石室古墳跡	宇都宮市	山田水道・山内	152.00	古跡	平安	石碑	1126.5.21	
23	1.千人石	宇都宮市	山田アルプス山麓上流	207.00	古跡	平安	集合住宅	1126.5.21	
24	1.土塁跡	宇都宮市	山田水道・山内	60.00	古跡	平安	個人住宅	1126.5.21	
25	1.祠堂跡	宇都宮市	山田水道・山内	20.00	古跡	平安	石碑	1126.5.21	
26	1.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	36.00	古跡	平安	個人住宅	1126.5.21	
27	1.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	4.00	古跡	平安	個人住宅	1126.5.21	
28	1.鬼子母神跡	宇都宮市	山田アルプス山麓上流	2.70	古跡	平安	集合住宅	1126.5.21	
29	1.土塁跡	宇都宮市	山田水道・山内	162.00	古跡	平安・中世	その他の施設	1126.5.21	
30	1.大正遺跡	宇都宮市	山田水道・山内	2.30	古跡	平安・古墳	個人住宅	1126.5.21	
31	1.大正遺跡	宇都宮市	山田水道・山内	1056.00	古跡	平安・古墳・平安	その他の施設	1126.5.21	
32	1.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	695.00	古跡	平安	その他の施設	1126.5.21	
33	1.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	662.00	古跡	平安	その他の施設	1126.5.21	
34	1.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	417.00	古跡	平安	個人住宅	1126.5.21	
35	1.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	1365.23	古跡	平安	集合住宅	1126.5.21	
36	1.手取川跡	宇都宮市	山田水道・山内	60.00	古跡	平安・古墳・平安	宅地造成	1126.5.21	
37	1.手取川跡	宇都宮市	山田水道・山内	800.00	古跡	平安・古墳・平安	個人住宅	1126.5.21	
38	2.今川氏跡	宇都宮市	山田水道・山内	729.00	古跡	平安	石碑	1126.5.21	
39	2.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	36.00	古跡	平安	石碑	1126.5.21	
40	3.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	272.17	古跡	平安	個人住宅	1126.5.21	
41	3.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	263.16	古跡	平安	個人住宅	1126.5.21	
42	4.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	60.00	古跡	平安・古墳	その他の施設	1126.5.21	
43	4.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	2085.00	古跡	平安・古墳	集合住宅	1126.5.21	
44	4.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	16.00	古跡	平安	集合住宅	1126.5.21	
45	4.鬼子母神跡	宇都宮市	山田水道・山内	23.00	古跡	平安	宅地造成	1126.5.21	

No.	路線の名稱	所 在 地	面積 (ha)	道路の種類	時代	現 代	現今の用 途	過去の上 事
46	伝統的外 環状式幹道	新潟市立山・古志 新潟市立山・古志	36.00	城壁路	中世	学校設 施	新潟市立山	H26.9 ~ H28.6.23
47	伝統的外 環状式幹道	新潟市立山・古志	2.00	城壁路	平安	道路	新潟市立山	H25.18 ~ H26.3.27
48	伝統的外 環状式幹道	新潟市立山・古志	6.00	その他の道路	中世 - 平安	その他の 施設	新潟市立山	H26.07 ~ H26.9.27
49	伝統的外 環状式幹道	新潟市立山・古志	50.00	城壁路	中世 - 平安	その他の 施設	新潟市立山	H26.21 ~ H26.9.2
50	伝統的外 環状式幹道	新潟市立山・古志	14.00	城壁路	中世 - 平安	その他の 施設	新潟市立山	H26.21 ~ H26.7.13
51	伝統的外 環状式幹道	新潟市立山・古志	22.00	城壁路	中世 - 平安	その他の 施設	新潟市立山	H26.19 ~ H26.7.5
52	風景 1 番	新潟市立山・古志	60.00	城壁路	中世 - 平安	その他の 施設	新潟市立山	H26.19 ~ H26.8.31
53	ケチキ幹道、 新潟市立山・古志道	新潟市立山・古志	30.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.7.21 ~ H26.8.5
54	上石川道	新潟市立山・古志	3.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.7.11 ~ H26.7.29
55	人見谷路	新潟市立山・古志	11.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.7.20 ~ H26.7.28
56	奥日田路	新潟市立山・古志	161.70	城壁路	中世 - 平安	道路	新潟市立山	H26.7.25 ~ H26.9.30
57	竹ノ森 3 路筋	新潟市立山・古志	161.70	城壁路	中世 - 平安	道路	新潟市立山	H26.7.21 ~ H26.9.21
58	小菅谷路	新潟市立山・古志	272.17	城壁路	中世 - 古墳 - 平安	道路	新潟市立山	H26.7.14 ~ H26.7.14
59	坂本木道、 新潟市立山・古志道	新潟市立山・古志	73.00	城壁路	中世 - 古墳 - 平安	道路	新潟市立山	H26.7.20 ~ H26.7.20
60	舟見道	新潟市立山・古志	161.70	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.7.20 ~ H26.7.20
61	神子谷路	新潟市立山・古志	16.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.3 ~ H26.8.10
62	北浦道	新潟市立山・古志	221.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.4 ~ H26.8.19
63	佐野谷路	新潟市立山・古志	60.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.27 ~ H26.9.29
64	船引谷路	新潟市立山・古志	60.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.8 ~ H26.8.10
65	中川道筋、 新潟市立山・古志	新潟市立山・古志	28.00	城壁路	中世 - 古墳 - 平安	道路	新潟市立山	H26.8.17 ~ H26.7.21
66	穴守路	新潟市立山・古志	3.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.8 ~ H26.8.10
67	人見谷路	新潟市立山・古志	210.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.17 ~ H26.8.35
68	御前山道	新潟市立山・古志	1128.00	城壁路	中世 - 古墳	その他の 施設	新潟市立山	H26.8.19 ~ H26.8.31
69	石見谷路	新潟市立山・古志	6.00	城壁路	中世 - 古墳	その他の 施設	新潟市立山	H26.7.16 ~ H26.7.16
70	坂ノ上山田谷路	新潟市立山・古志	712.50	城壁路	中世	集会行 走	新潟市立山	H26.8.23 ~ H26.8.24
71	小出山・片之山・中川 新潟市立山・古志	新潟市立山・古志	13.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.9 ~ H26.8.9
72	大内町・河原路	新潟市立山・古志	8.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.23 ~ H26.9.2
73	今井谷路	新潟市立山・古志	6.25	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.17 ~ H26.9.1
74	平野町・西浦路	新潟市立山・古志	77.00	城壁路	中世 - 古墳	その他の 施設	新潟市立山	H26.8.5 ~ H26.10.26
75	坂西町・西浦路	新潟市立山・古志	43.00	城壁路	中世 - 古墳	集会行 走	新潟市立山	H26.8.18 ~ H26.8.26
76	越前が丘・上ノ山道	新潟市立山・古志	76.00	城壁路	中世 - 古墳 - 平安	道路	新潟市立山	H26.8.25 ~ H26.9.9
77	内久保路	新潟市立山・古志	21.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.47 ~ H26.9.13
78	伝統的外 環状式幹道	新潟市立山・古志	21.93	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.13 ~ H26.9.16
79	豊小川幹道	新潟市立山・古志	40.60	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.17 ~ H26.9.16
80	伝統的外 環状式幹道	新潟市立山・古志	426.61	その他の道路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.27 ~ H26.9.17
81	柄谷山城	新潟市立山・古志	903.33	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.19 ~ H26.9.16
82	新潟市立山・古志	新潟市立山・古志	207.00	その他の道路	中世 - 古墳	道路	新潟市立山	H26.8.14 ~ H26.9.16
83	今井谷・河原路	新潟市立山・古志	101.18	城壁路	中世 - 古墳 - 平安	集会行 走	新潟市立山	H26.8.13 ~ H26.9.13
84	内久保・河原路	新潟市立山・古志	891.00	城壁路	中世 - 古墳	人見谷	新潟市立山	H26.8.13 ~ H26.9.16
85	鶴鳴山道	新潟市立山・古志	128.51	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.27 ~ H26.9.16
86	平野町・河原路	新潟市立山・古志	760.00	城壁路	中世	小路	新潟市立山	H26.8.19 ~ H26.9.16
87	舟代谷路	新潟市立山・古志	210.00	城壁路	中世 - 古墳	道路	新潟市立山	H26.8.26 ~ H26.9.15
88	舟代谷路	新潟市立山・古志	360.00	城壁路	中世 - 古墳	道路	新潟市立山	H26.8.27 ~ H26.9.26

No.	道路の名称	所 在 地	施設 (m)	道路の特則	時代	開通・令員・平安	滅失の原因	滅失の日時	滅失を伴 する現況
95	船木一神馬道	南アルプス山地本 街道	117.25 路面	小坂 - 令員・平安	117.25	自然	自然消滅	1289.28 ~ 1285.04	南アルプス山地本街道会 議
96	下野村御門7号道	南アルプス山地本 街道	45.00 放毛地	平安	45.00	自然	自然消滅	1285.12 ~ 1285.02	南アルプス山地本街道会 議
97	上北山道、下北山道	山梨県山梨市境内	5.50 放毛地	平安	5.50	自然	自然消滅	1289.35 ~ 1289.21	山梨縣山梨市境内会 議
98	夷隅山道	山梨県山梨市境内	9.00 放毛地	平安	9.00	自然	自然消滅	1289.35 ~ 1289.29	山梨縣山梨市境内会 議
99	夷隅山道	山梨県山梨市境内	18.00 有路跡	開文・令員・平安・新規・平安・中止	18.00	自然	自然消滅	1289.35 ~ 1289.32	山梨縣山梨市境内会 議
100	山道	山梨県山梨市境内	90.00 有路跡	開文・令員・平安・新規・平安・中止	90.00	自然	自然消滅	1289.35 ~ 1289.32	山梨縣山梨市境内会 議
101	夷隅山道	山梨県山梨市境内	112.00 有路跡	開文・令員・平安	112.00	自然	自然消滅	1289.35 ~ 1289.32	山梨縣山梨市境内会 議
102	石川長野道	新潟県石川町下平・本溪 町	7.00 有路跡	開文・令員・平安	7.00	自然	自然消滅	1285.01 ~ 1285.01	新潟縣石川町下平会 議
103	佐原山道	新潟県石川町裏原	15.00 有路跡	開文・令員・平安	15.00	自然	自然消滅	1285.01 ~ 1285.01	新潟縣石川町裏原会 議
104	佐原山道	新潟県石川町裏原	6.00 有路跡	開文・令員・平安	6.00	自然	自然消滅	1285.01 ~ 1285.01	新潟縣石川町裏原会 議
105	佐原山道	新潟県石川町裏原	118.51 有路跡	開文・令員・平安	118.51	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	新潟縣石川町裏原会 議
106	人少山道	山梨県山梨市	16.00 有路跡	開文・令員・平安	16.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
107	人少山道	山梨県山梨市	16.00 その他の道路	開文・令員・平安	16.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
108	人少山道	山梨県山梨市	15.56 有路跡	開文・令員・平安	15.56	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
109	人少山道	山梨県山梨市	15.00 有路跡	開文・令員・平安	15.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
110	人少山道	山梨県山梨市	100.00 有路跡	開文・令員・平安	100.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
111	人少山道	山梨県山梨市	4.60 有路跡	開文・令員・平安	4.60	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
112	人少山道	山梨県山梨市	12.60 その他の道路	開文・令員・平安	12.60	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
113	人少山道	山梨県山梨市	30.00 有路跡	開文・令員・平安	30.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
114	人少山道	山梨県山梨市	100.00 有路跡	開文・令員・平安	100.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
115	人少山道	山梨県山梨市	14.00 集合所	開文・令員・平安・近親	14.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
116	人少山道	山梨県山梨市	103.73 ト判	開文・令員・平安	103.73	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
117	人少山道	山梨県山梨市	16.71 ト判	開文・令員・平安	16.71	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
118	人少山道	山梨県山梨市	12.00 有路跡	開文・令員・平安	12.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
119	人少山道	山梨県山梨市	9.20 有路跡	開文・令員・平安	9.20	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
120	人少山道	山梨県山梨市	161.00 有路跡	開文・令員・平安	161.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
121	人少山道	山梨県山梨市	45.00 有路跡	開文・令員・平安	45.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
122	人少山道	山梨県山梨市	70.00 有路跡	開文・令員・平安	70.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
123	人少山道	山梨県山梨市	5.00 有路跡	開文・令員・平安	5.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
124	人少山道	山梨県山梨市	76.00 有路跡	開文・令員・平安	76.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
125	人少山道	山梨県山梨市	60.00 有路跡	開文・令員・平安	60.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
126	人少山道	山梨県山梨市	4.80 有路跡	開文・令員・平安	4.80	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
127	人少山道	山梨県山梨市	140.00 その他の道路	開文・令員・平安・新規	140.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
128	人少山道	山梨県山梨市	85.00 有路跡	開文・令員・平安	85.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
129	人少山道	山梨県山梨市	9.73 有路跡	開文・令員・平安	9.73	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
130	人少山道	山梨県山梨市	128.00 有路跡	開文・令員・平安	128.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
131	人少山道	山梨県山梨市	13.50 有路跡	開文・令員・平安	13.50	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議
132	人少山道	山梨県山梨市	650.00 有路跡	開文・令員・平安	650.00	自然	自然消滅	1285.02 ~ 1285.02	山梨縣山梨市会 議

No.	高さの名稱	所 在 地	面積 (m)	道路の種類	時代	調査会員	調査期間
133	對牛馬・之(木)道跡、野々山・由ガラス小野原下ノ馬	161.00 乾谷地	会員・聖愛・中井	北端通路	油アルゴス教育会	H28.12.15 ~ H29.12.27	
134	穂谷(1)・丁ノ道跡	68.00 乾谷地	会員・聖愛・中井	聖人通	聖人教育会	H28.12.20 ~ H28.12.20	
135	穂谷(1)・丁ノ道跡	11.00 乾谷地	聖人・聖愛・中井・合意・平安	聖人通	聖人教育会	H28.12.20 ~ H28.12.20	
136	之(木)・上ノ田道跡	1.90 乾谷地	合意・平安	聖人通	聖人教育会	H28.12.21 ~ H28.12.21	
137	鬼鹿脚外	9.000	一	一	油アルゴス教育会	H28.12.19 ~ H28.12.28	
138	御前賀・北高尾跡	265.20 乾谷地	聖文	ダス・電気・電話・水道	北山教育会	H29.1.5 ~ H29.1.10	
139	小高山小野原下ノ前	6.00 乾谷地	中井・聖愛	毛利通	中井山教育会	H28.12.26 ~ H28.12.26	
140	南側他先・聖人道跡	65.00 之(木)の通路	会員	毛利通	油アルゴス教育会	H29.1.19 ~ H29.1.19	
141	武藏城 下町	60.00 乾谷下町	中井	毛利通	中井山教育会	H28.12.16 ~ H29.1.18	
142	利根通路	6.00 乾谷地	平安	毛利通	中井山教育会	H29.1.16 ~ H29.1.19	
143	中ノ通路	12.00 乾谷地	中井	毛利通	中井山教育会	H29.1.21 ~ H29.1.27	
144	人宮谷野	120.00 乾谷地	中井	毛利通	中井山教育会	H29.1.16 ~ H29.1.20	
145	上ノ道跡	5.00 乾谷地	中井	毛利通	中井山教育会	H29.1.18 ~ H29.1.25	
146	聖人道跡	30.00 乾谷下町	中井	毛利通	中井山教育会	H29.1.27 ~ H29.1.30	
147	武藏城 下町	17.00 乾谷下町	中井	毛利通	中井山教育会	H28.2.5 ~ H28.8.10	
148	聖人道跡	6.00 乾谷地	中井	毛利通	中井山教育会	H29.1.16 ~ H29.2.24	
149	水道・排水路	11.00 乾谷地	中井・聖愛・平安	毛利通	油アルゴス教育会	H29.2.2 ~ H29.2.23	
150	浅見通外	13.15 乾谷地	中井	毛利通	中井山教育会	H29.2.7 ~ H29.2.7	
151	鬼鹿脚外	南側他先・聖人道	中井	毛利通	油アルゴス教育会	H29.2.3 ~ H29.2.3	
152	利根川通路	10.10 乾谷下町	中井	毛利通	中井山教育会	H29.2.7 ~ H29.2.3	
153	六代氏御跡	25.00 乾谷地	中井	毛利通	中井山教育会	H29.2.13 ~ H29.2.28	
154	高家C・御跡	991.5.3 乾谷下町	中井	毛利通	中井山教育会	H29.2.22 ~ H29.2.26	
155	之(木)・上ノ田道跡	1.80 乾谷地	中井・聖愛・平安	毛利通	油アルゴス教育会	H29.2.15 ~ H29.2.15	
156	高家D・御跡	13.00 乾谷地	中井	毛利通	中井山教育会	H29.2.20 ~ H29.2.28	
157	穂谷(1)・丁ノ道跡	9.00 乾谷地	聖文・聖愛・中井・平安	毛利通	中井山教育会	H29.2.22 ~ H29.2.24	
158	大高尾跡	50.00 乾谷地	中井	毛利通	中井山教育会	H29.2.21 ~ H29.2.19	
159	野々山・之(木)道跡、野々山・由ガラス小野原下ノ馬	31.30 乾谷地	会員・聖愛・中井	毛利通	油アルゴス教育会	H29.2.14 ~ H29.2.24	
160	南側他先・聖人道跡	13.00 之(木)の通路	中井	毛利通	油アルゴス教育会	H29.2.16 ~ H29.3.21	
161	之(木)・2番通	37.65.0 乾谷地	中井・聖文・聖愛・高井	毛利通	油アルゴス教育会	H29.2.16 ~ H29.3.21	
162	之(木)石道跡	65.00 乾谷地	中井・聖文・聖愛	毛利通	油アルゴス教育会	H29.2.16 ~ H29.3.21	
163	武藏城 下町	261.41 乾谷地	会員	毛利通	中井山教育会	H29.3.17 ~ H29.3.14	
164	武藏城 下町、人子下道跡	18.00 乾谷地	聖文・中井通	毛利通	中井山教育会	H29.3.18 ~ H29.3.18	
165	梅屋祭	741.23 乾谷地	中井	毛利通	中井山教育会	H29.3.16 ~ H29.3.13	
166	在塙跡外	16.00 乾谷地	中井	毛利通	中井山教育会	H29.3.13 ~ H29.3.11	
167	在塙跡外	16.70 乾谷地	中井	毛利通	油アルゴス教育会	H29.3.19 ~ H29.3.19	
168	平日高・下町	100.00 乾下町	中井通	毛利通	中井山教育会	H29.3.11 ~ H29.3.11	
169	利根川通路	63.00 乾谷地内	中井	毛利通	中井山教育会	H29.3.13 ~ H29.3.14	
170	石道跡	26.00 乾谷地	会員・聖愛	毛利通	中井山教育会	H29.3.17 ~ H29.3.17	
171	之(木)道跡	16.00 乾谷地	聖文・中井通	毛利通	中井山教育会	H29.3.19 ~ H29.3.21	
172	中ノ通路	19.10 乾谷地	中井	毛利通	油アルゴス教育会	H29.3.17 ~ H29.3.18	
173	中ノ通路	61.00 乾下町	会員・聖愛	毛利通	中井山教育会	H29.3.20 ~ H29.3.27	
174	河原通	5.00 乾谷地	中井	毛利通	中井山教育会	H29.3.16 ~ H29.3.17	
175	山手山長坂通中之先の通	80.00 乾谷地	聖文・中井	毛利通	中井山教育会	H28.11.1 ~ H28.11.14	

No.	遺跡の名稱	所 在 地	面積 (m)	遺跡の種類	時代	調査報告書名	調査会員
176	山道遺跡、山道古跡	小野山上山頂遺跡	750	古墳	平安	信濃縣史跡調査小委員會(昭和16年)	H29.1.13 ~ H29.3.13
177	阿波守山遺跡	山道山下山腹地内	52000	古墳	國文・古墳・平安	信濃縣史跡調査小委員會(昭和17年)	H29.3.7 ~ H29.1.31
178	油門遺跡	北山山頂遺跡(信濃)	47800	古墳	國文・古墳・平安	北山山頂古跡委員會	H28.10.1 ~ H28.10.25
179	高川遺跡	北山山頂遺跡(福井)と北山山腹地	98300	古墳	國文・平安	北山山頂古跡委員會	H29.1.11 ~ H29.1.16
180	人穴穴遺跡	北山山頂遺跡(福井)	177600	古墳	國文・平安・中世	北山山頂古跡委員會	H28.1.15 ~ H28.1.29
181	人穴 C 遺跡	北山山頂(西側)と山腹地	100300	古跡	國文・平安	北山山頂古跡委員會	H28.1.26 ~ H28.1.29
182	阿波守山遺跡	北山山頂(東側)と山腹地	98300	古墳	國文・平安	北山山頂古跡委員會	H29.1.18 ~ H29.1.21
183	信濃郡山遺跡	北山山頂(東側)と山腹地	93100	古跡	國文・平安	北山山頂古跡委員會	H29.1.10 ~ H29.1.10
184	中久保 A 遺跡	北山山頂(東側)と山腹地	91100	古墳	國文・平安・中世	北山山頂古跡委員會	H29.1.27 ~ H29.1.27
185	人穴 D 遺跡	北山山頂(東側)と山腹地	46700	古墳	中世	北山山頂古跡委員會	H29.1.10 ~ H29.2.10
186	御手道跡	北山山頂(東側)と山腹地	61100	古墳	國文・平安・中世	北山山頂古跡委員會	H29.1.6 ~ H29.1.6
187	人穴 E 遺跡	北山山頂(東側)と山腹地	133700	古跡	國文・平安・中世	北山山頂古跡委員會	H29.2.8 ~ H29.2.9
188	小野宿跡	北山山頂(東側)と山腹地	49200	古跡	國文・平安・中世	北山山頂古跡委員會	H29.1.15 ~ H29.2.15
189	梅田 B 遺跡	北山山頂(東側)と山腹地	27100	古墳	國文・古墳・平安	北山山頂古跡委員會	H29.2.21 ~ H29.2.27
190	吉代裏上山跡	北山山頂(東側)と山腹地	10650	古跡	國文・古墳・平安	北山山頂古跡委員會	H29.2.11 ~ H29.2.14
191	吉代裏下山跡	北山山頂(東側)と山腹地	285100	古墳	國文・古墳・平安	北山山頂古跡委員會	H29.1.16 ~ H29.2.22
192	御手道跡	北山山頂(東側)と山腹地	109500	古跡	中世	北山山頂古跡委員會	H29.2.7 ~ H29.2.7
193	鹿島古道跡	北山山頂(東側)と山腹地	47277	古跡	國文・古墳	北山山頂古跡委員會	H29.1.2 ~ H29.3.3
194	御手道跡	北山山頂(東側)と山腹地	86230	古跡	國文・古墳	北山山頂古跡委員會	H29.2.29 ~ H29.2.29
195	川口古道跡	甲斐市山中下山本町1丁目	18100	その他遺跡	國文・中世	信濃研究	H28.6.26 ~ H28.6.30
196	赤坂古道跡	甲斐市山中町下山本町1丁目	41000	古跡	中世	信濃研究	H28.6.13 ~ H29.7.29
197	赤坂古道跡	北山山頂(東側)と山腹地	15600	古跡	國文・中世	信濃研究	H28.6.8 ~ H28.8.23
198	御田古道跡	御田山下山	27500	古跡	生田・古墳・平安	信濃研究	H28.7.29 ~ H29.9.15
199	御田古道跡	御田山山頂(東側)	35000	古跡	生田・古墳	信濃研究	H29.1.12 ~ H29.1.21
200	鬼越古道跡	御田山山頂部	258100	古跡	生田・古墳・平安	信濃研究	H28.10.1 ~ H28.10.1
201	中川遺跡、阿須野免遺跡	御田山山頂(東側)と御田山山腹地	677600	古跡	國文・古墳・平安	信濃研究	H28.12.16 ~ H29.3.15
202	ドノノ手塚	北山山頂(東側)と山腹地	277000	古跡	國文・平安・中世	信濃研究	H29.1.16 ~ H29.5.10



●路線バスご利用

- 甲府一豊富(中道橋経由)考古博物館で下車
- 高速バスのご利用(2時間)  
新宿西口……南回り、甲府行(中道下車)徒歩5分  
南甲府インター下車・徒歩10分

---

## 年報 33

印刷日 2017年 8月 28日

発行日 2017年 8月 31日

発行所 山梨県埋蔵文化財センター  
山梨県甲府市下曾根町923  
TEL 055-266-3881・055-266-3016  
FAX 055-266-3882  
E-mail : maizou-bnk@pref.yamanashi.lg.jp

印刷所 青柳印刷株式会社  
山梨県甲斐市長塚526  
TEL 055-277-5511

---